

大館ふるさとキャリア教育

幼保小の架け橋プログラム

架け橋カリキュラム集録

大館市 令和7年3月



大館市にとっての「架け橋プログラム」

市の教育理念(H23～)

「大館ふるさとキャリア教育」を
根幹とした人財育成、
教育による地方創成

- 0歳から22歳までの育ちをつなぐ
- 「おおだて型学力」の育成
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現



校種や立場を越えて、共に子どもを語る、共に学び合うことで、
「未来大館市民」を育成するという目的を共有

架け橋期に期待する子どもの姿

共感的協働力

周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間とともに育ち合う子ども

ふるさとキャリア教育

- 地域とのつながり・関わり
(知る・親しむ・楽しむ)
- 主体的な学び
- 自己肯定感
- 本物体験(五感を通した直接体験)の重視

架け橋期ならではの学び

- 人間の基礎力
- 学びの喜びや楽しさを実感
= 子どもの意欲や期待に応える
保育・授業
- 学びの自覚化
- 「10の姿」を共通言語にして、つなぐ

おおだて型学力

- 共感的協働力
多様な考えを認め共感しながら、
個々の能力を結集し協働して
新たな価値を創造する力
= 響学(育ち合う・学び合う)
- 一人たりとも置き去りにしない
= 個々の育ちを見取り、引き出す

架け橋期のカリキュラムの必要性、本市のカリキュラムの特徴

- 本市が目指す子どもの姿に向けて、共通するカリキュラムで保障すべき保育・教育、育ちの姿を可視化
- カリキュラム作成の協議を通して、主体的に教育・保育を改善
- 一人一人の発達を見取って、多様な育ちに対応

◎この時期にふさわしい援助・指導が積み重ねられ、市内のどの園・小学校にいても発達に必要な経験
(生活・保育・授業)が保障されるためには、一貫したカリキュラムが必要

★本市では4歳児から小学校2年生までの4年間を「架け橋期」と捉える。

☆小学校への適応を急ぐのではなく、小学校就学前の学びや体験の延長線上に、
発達の特性に応じた学びを積み上げる。

☆3つの資質・能力をベースに、幼保小が同じ方向性をもった「ねらい」、それに基づいた活動や体験を設定する。

☆学びの喜びや楽しさを実感できるよう子どもの意欲や期待に応える保育・授業を展開する。

☆すべての学習の土台となる「ことば」「言語活動」における伸びしろを
十分引き出す教育・保育実践を大切にする。

架け橋期のカリキュラムを実践しよう

大館市教育委員会

《幼保小の連携に関わる研修・活動等の年間計画》
◇各園校 ○市主催 ☆子ども交流 ★職員交流

月	研修計画・活動等
4月	◇架け橋期のカリキュラムの共通理解 → ステップ1 ★1年生の授業等の参観・協議 架け橋委員顔合わせ
5月	◇年間指導計画等の見直し・重点化 → ステップ2 ☆小学校運動会予行参観等の交流 ○幼保小連携推進会議(5月23日) ○幼保小担任研修会(5月29日)
6月	★相互参観・研究協議参加
7月	☆子どもの交流(夏の遊び等) → ステップ3
8月	○教職員夏季研修会(7月28日)
9月	★小学校職員による保育体験 ★架け橋会議 → ステップ4
10月	☆小学校学習発表会予行参観等の交流
11月	☆子どもの交流(秋の遊び等)
12月	★架け橋会議 → ステップ4
1月	○教職員研究実践発表会(1月7日)
2月	☆子どもの交流(冬の遊び等) ○保育研究実践発表会 ☆子どもの交流(体験入学等)
3月	◇新1年生指導要録等送付・活用 ★新1年生情報交換 ◇園内・校内での振り返り → ステップ5 ◇幼保小連携担当者、担任の引き継ぎ

◇連携担当者、担任の引き継ぎ

- ・学校区のカリキュラム全体計画の内容、特に「共通の視点」に込めている願いや「目指す姿」、体験のねらい等について。
- ・架け橋会議等で話題になった成果や課題、改善点、次年度の連携・交流の計画や内容等について。

⇒ 次年度の架け橋カリキュラム、スタートカリキュラムの原案を基に説明する。

★1年生の授業等の参観・協議

○4～5月中に、1年生の授業や日常活動等を
就学前施設の職員が参観できる機会をもつ。
(学校区外の施設にも案内する)

○参観後は

- ・学校区の架け橋委員の顔合わせ
- ・スタートカリキュラムの説明
- ・1年生の姿や環境構成について語り合う

・幼保小連携推進担当が参加して、カリキュラム
実践の情報交換や年間の連携行事、交流、架け橋
会議等の計画立案を行い年間計画に位置付ける。

※後日年間計画提出

・5歳児、1年生の担任が参加し、カリキュラム
を基に年間の連携・交流の計画を具体化する。

※当日スタートカリキュラム提出

★相互参観・研究協議

- ・保育・授業の研究会、要請訪問、市訪問、ミニ公開保育、授業参観日等の予定を学区で共有し、相互参観を年間計画に位置付ける。
- ・研究協議では、子どもの姿、育ちや学びを語り合い、子どもの実態、保育・教育内容や環境、指導方法等について理解し合う。

★保育参観・保育体験

- ・子どもが何に興味・関心をもち、環境や友達とどのように関わって遊びを広げようとしているか。
- ・遊びの中でどのような力が育とうとしているか、「10の姿」や学区の「共通の視点」等を手掛かりにして捉える。
- ・環境の構成と保育者の関わりのよさに着目する。
- ⇒ さらに保育体験では…
- ・子どもと一緒に遊び、思いを聞き取ったり楽しさを共有したりしながら、遊びの中での学びを見取る。

★新1年生情報交換

- ・園での子どもの姿や育ちを「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や育まれている資質・能力を意識して捉え、意欲や努力も含めて具体的に伝える。
- ・日々の先生の言葉かけや環境の構成など心掛けてきたことや変容のきっかけとなった援助等、指導の過程を伝える。
- ・小学校で引き続き「どのようなことに配慮して指導してほしいか」等、小学校での指導に生かすための「育ちつつある姿」を伝える。

ステップ1 「架け橋期のカリキュラム」の共通理解を図ろう！

年度初め

○園内、校内の職員や、保護者・地域に向けて発信します。

- ①園内、校内研修で「架け橋期のカリキュラム」の意義やねらい、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」等を研修し、全職員の共通理解を図ります。
- ②各小学校区の「架け橋期のカリキュラム全体計画」を全職員に配布し、学校区の「共通の視点」や「架け橋期に期待する子どもの姿」「目指す子どもの姿」等を共有します。
- ③PTA総会や学校運営協議会等を活用して、架け橋期のカリキュラムの意義や実践による効果の共通認識を図ります。

ステップ2 「架け橋期のカリキュラム」を基に指導計画を見直そう！

○「架け橋期のカリキュラム全体計画」を基に、全体計画や指導計画等を見直します。

- ①園の全体的な計画、学校経営計画、学年経営計画、指導計画等を学校区の「共通の視点」や「目指す子どもの姿」等を基に見直します。
 - ②各活動や体験で身に付けたい資質・能力や活動の内容を、期ごとの「目指す子どもの姿」等を基に見直し、重点化します。
 - ③各指導計画に、「共通して充実を目指す活動・体験」と、それに関わる環境の構成と援助を位置付け、日常活動等にも反映させます。
- 園の全体的な計画 □各年齢の指導計画 □月・週日案 □指導案
□学校経営計画・グランドデザイン □学年経営計画
□スタートカリキュラム □ふるさとキャリア教育等の全体計画
□生活科等教科の年間指導計画 □指導案 □園評価・学校評価書 等

学校区の共通の視点を基に1, 2年の学年運営計画の目指す子どもの姿やスタートカリキュラムを見直してみよう。



(例)「自立心」を重点に活動を見直そう。子どもたちのやってみたいことを聞き取って、一緒に環境を構成してみよう！

ステップ3 交流活動の事前・事後の話合いを大事にしよう！

年間通して

○事前・事後の話合いや交流活動の子どもの姿を通して、「交流のねらいや内容」「環境の構成や援助・支援」、ねらいの達成状況等について検証し次の交流に生かします。

《交流の打ち合わせのポイント》

- 5歳児と1年生双方が主体的に活動し学びがある内容、ねらいを設定する。
- ・交流の内容は、生活科と限らず、体育のゲームや固定施設遊び、図工の造形遊びなど、5歳児も園での体験を生かせるもの、子ども同士の自発的な関わりが生まれる活動を工夫する。
- ・カリキュラムの「どの期のどの姿」に基づいた活動か、活動で「育てたい力」は何かを明確にしてねらいを設定する。
- ねらいを達成するための環境の構成と援助・支援を明確にする。
- 環境の構成や用具の準備など、幼保小で協働的に進める。

《交流後の振り返りのポイント》

- 子どもの姿からねらいの達成状況を検証する。
- ・交流したからこそ見られた姿や育ちは何か？
- ・幼小それぞれの立場からの見方や考え方を共有する。
- 環境の構成、先生の関わりを検証する。
- ・ねらいの達成につながった有効だった環境や援助・支援を共有する。
- 次回の交流、次年度の交流の改善ポイントを明確にする。



5歳児もおもてなしされるだけではなく、主体的に活動できるようにしたいね！

相談タイムを設けたことで5歳児と1年生のやりとりが増え、自信をもって活動する姿が見られました。

ステップ4 「架け橋会議」で子どもの姿を語り合い検証しよう！

主に夏・冬休み

○日々の保育・教育を通した子どもの姿、相互参観や交流での子どもの姿等を基に育ちや学びを語り合い、カリキュラムを検証し改善します。

- ①子どもの姿を基に、「10の姿」や「共通の視点」「目指す子どもの姿」を視点にしてワークショップで語り合います。
- ②「目指す子どもの姿」につなげるための環境の構成や援助・支援を検証します。
- ③カリキュラムの内容と実践を振り返り、職員間で共有すると共に改善点を明らかにします。
- ④会議で話題になった子どもの姿や育ち、カリキュラムの改善点等を、委員だけでなく、園・学校の職員間で共有します。

◇架け橋委員(例)

園長 所長 校長 教頭
主任保育士 主幹保育教諭 教務主任
4, 5歳児、1, 2年担任
保育AD 架け橋C o. 等

◇準備するもの(例)

・模造紙・付箋・マジックペン
・架け橋期のカリキュラム集録
・園の全体的な計画、学校経営計画等
・年間指導計画、学年経営計画等
・スタートカリキュラム
・月案、週日案、指導案 等

◇進め方(例)

進行 教頭 記録 主任

- 1 はじめのあいさつ（校長）
- 2 自己紹介（1回目）
- 3 日常の子どもの様子について（担任から）
- 4 協議Ⅰ（ワークショップ）
 - ・学区の「共通の視点」や「目指す子どもの姿」を視点にした子どもの育ちと学びについて
 - ・主体的・協働的な遊びや学びを引き出す環境の構成と先生の関わりについて。
- 5 協議Ⅱ
 - ・カリキュラム実践による子ども・職員の変容
 - ・成果と課題を踏まえた改善点 等について
- 6 終わりのあいさつ（園長・所長）

ステップ5 「架け橋期のカリキュラム」の評価・改善を図ろう！

主に年度末

○カリキュラムが各小学校区の実態に即したものになるよう、また、持続・発展するために、チェックリストを活用して評価・改善を図ります。

架け橋期のカリキュラム改善・発展のためのチェックリスト

- カリキュラムを踏まえた教育課程の編成や指導計画の作成を行い、実施した。
- 子どもの交流について打ち合わせを行い、子どもの自発的な交流が生まれるよう、幼保小の先生が協働して工夫した。
- 職員の交流を計画的に実施し、子どもの姿を基に気軽に対話できる関係づくりにつなげた。
- 「共通の視点」「架け橋期に期待する子どもの姿」「目指す子どもの姿」が実践に生かされた。
- カリキュラムの実践が、子どもの育ちや学びのつながりを意識した保育・教育につながった。
- カリキュラムの意義や効果について、地域や保護者の理解を深めるための手立てを工夫した。
- 架け橋会議で話題になった子どもの姿や育ちを、園内、校内の職員全体で共有した。
- 園内、校内の担当者同士で、カリキュラムの内容やこれまでの実践の成果や課題、次年度に向けた改善点、連携・交流のノウハウ等を引き継ぎ、次年度につなげた。

令和7年度 大館市 架け橋期のカリキュラム全体計画（4歳児 4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿
～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども～

【知識及び技能の基礎】

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、出来るようになったりする。

【思考力・判断力・表現力の基礎】

気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。

【学びに向かう力・人間性等】

できるようになったことや分かったことなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動や体験への意欲をもつ。

月期	4	5	6	7	8
	4歳児 第1期		4歳児 第2期		
ねらい	新しい環境に慣れ、 保育者や友達に親しみをもって安心して過ごし 、好きな遊びを楽しむ。		好きな場所や遊びを見つけて、 自分なりの思いを出しながら、保育者や友達と関わり合って 過ごす。		
知識及び技能の基礎	ア：一日の生活の流れが分かり、 身の回りの準備や後始末などを自分でしようとする。 ア： 交通のきまりや安全な歩行、緊急時の避難の仕方が分かり、 守ろうとする。 オ： 遊具や用具など、 身近に使う物の使い方が分かり、 安全に遊ぶ。 ケ： 日常生活や友達との遊びの中で、 自分の気持ちや考えを伝える言葉に関心をもつ。 コ： 手遊びや言葉遊びなどに親しみながら、 言葉の響きやリズムを楽しむ。		ア： 友達といろいろな遊びを通して、 身体を十分に動かす楽しさを味わう。 ア： 雨の日や暑い日の生活の仕方が分かり、 着替えや水分補給などを進んで行い、 健康に過ごす。 キ： 草花や夏野菜の世話をしながら、 花や葉、実などの違いに気付き、関心をもつ。 ク： 身の回りの玩具や用具、素材で遊びながら、 数や量、色や形、名前や数え方に関心をもつ。 コ： 絵本や物語、紙芝居などを通して、 美しい言葉、楽しい言葉に触れ、言葉に関心をもつ。		
	カ： 水、泡、砂、土、粘土などの 感触を味わったり様々な遊び方を試したりして、素材のおもしろさを楽しむ。 キ： 身近な草花や虫などと触れて遊び、 春の暖かさを感じ楽しむ。 ク： 遊びや生活の中で、 物の準備や後片付けをしながら、並べたり数えたりする。 ケ： 保育者にしてほしいことや困っていることを、 動作や言葉で伝えようとする。 コ： 好きな歌や曲に合わせて、 身体を動かしたり歌ったりして楽しむ。		カ： いろいろな材料を 自分のイメージに合わせて見立て、工夫して作ったり作った物を使ったりする。 キ： 雨や風などの音、雲の形や大きさなどに関心を持ち、 その変化や不思議さ、美しさを楽しむ。 ク： 夏野菜の収穫を喜び、みんなで 数を数えてシールを貼ったり数を書いたりする。 ケ： 保育者や友達に したいことや思ったことなどを伝えたり、分からないことを尋ねたりする。 コ： 感じたことや発見したことを、 思い思いに描いたり作ったりすることを楽しむ。		
育みたい資質・能力	イ： 自分で 遊びたい場所ややりたい遊びを見つけ、じっくり遊ぶ。 ウ： 友達と 遊んだり、話したり歌ったりすること を喜び、一緒に活動する楽しさを楽しむ。 エ： 共同の遊具や用具を大切に、 みんなで譲り合って使ったり片付けたりする。 オ： 母の日や父の日などを通して 家族から愛されていることに気付き、家族を大切にしようとする。		イ： 水遊びをするための 準備や後始末の手順や仕方が分かり、自分でしようとする。 ウ： 気の合う友達との関わりを楽しみ、 自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付いたりする。 エ： 泣いている友達を慰めたり保育者に伝えたりするなど、 友達を思い手助けしようとする。 オ： クラスの当番活動などを通して、 自分が役に立つ喜びを感じる。		
★行事・交流活動 ★児童・F・C ★交流	入園式 避難訓練 保護者面談 運動会 親子遠足 保護者参観日 ★保育体験		満5歳児すてっぷ相談(毎月1回 5～3月実施) ・4歳児担任も保護者とともに講話に参加し 「就学に向けて家庭で心がけたいこと」を聴く。 ★七夕会 ★教職員夏季研修会 ★架け橋会議		
○★環境助の構 成イン ト	★ 一人一人の子どもの気持ちを受け止めながら信頼関係を築き、個々の発達や経験に応じて丁寧に関わり安心して生活できるようにする。 ★ 園生活の一日の流れを可視化し、見通しをもって生活したり自分のことは自分でしようとしていたりする意欲を育てる。 ○ 新しい環境に馴染めるように、今まで親しんできた遊具を準備したり安心して過ごせる場を確保したりする。 ○ 園庭の木々や草花などに触ったり、遊びに取り入れられたりできるような環境を整え、身近な自然に興味や関心をもてるようにする。		★ 子どもの発見や気付きに共感し、それを友達と共有したり遊びに取り入れられたりできるようにする。 ★ 自分の思い通りにならない葛藤体験を大切に、子どもの思いを受け止めながら気持ちの安定を図り、よりよい解決策を一緒に考えていくようにする。 ○ 栽培物や生き物を日常的に観察したり世話をしたりできる環境を整え、生きや命の大切さに気付けるようにしていく。 ○ 雨の日や暑い日でも、園の内外で安全に全身を動かして遊ぶ楽しさや心地よさを味わうことができる環境を整える。		
家庭との連携	・ 安心して登園できるように保護者の喜びや不安を受け止めるとともに、子どもの様子を情報交換したり年間の子どもの育ちの見通しを伝えたりしながら、成長を共に支え合う関係作りをする。 ・ 緊急時の連絡方法や避難場所を周知するとともに、登降園時の安全、年間の園行事等について丁寧に説明し、保護者の理解と協力を得る。		・ 保育参観や保護者参加の行事等を通して、子どもの育ちを具体的に伝え、園の保育方針の理解を深められるようにする。 ・ 子ども同士のトラブルは、成長の機会として大切な経験であることを伝え、理解と協力をお願いする。 ・ 豊かな遊びの体験が心や言葉、運動機能の発達、興味・関心の広がりなどに大きく関わることを伝え、家庭での過ごし方や親子の遊びを見つめ直すきっかけを作る。		



▼幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)

- ア：健康な心と体 イ：自立心 ウ：協同性 エ：道徳性・規範意識の芽生え
- オ：社会生活との関わり カ：思考力の芽生え
- キ：自然との関わり・生命尊重 ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ケ：言葉による伝え合い コ：豊かな感性と表現

9	10	11	12	1	2	3
4歳児 第3期				4歳児 第4期		
気の合う友達との遊びを通して、 自分の気持ちを言葉で伝えたり友達とイメージをやり取りしたりしながら一緒に遊ぶ楽しさ を味わう。				いろいろな活動に進んで取り組み、 自分なりのよさを発揮して、友達と一緒に試したり工夫したりして遊びや生活を進める楽しさ を味わう。		
ア：ルールのある運動遊びに参加し、 友達と一緒に体を動かす楽しさを味わう。	ア：自分なりの めあてや見通しをもって、遊んだり生活したりしようとする。			ア：正月、節分、アメッコ市、ひな祭りなどの 伝統文化を見たり体験したりして、関心をもつ。		
ア：安全な遊び方や災害時の行動の仕方が分かり、気を付けて遊んだり生活したりする。	オ：進級することを楽しみにして、 部屋を片付けたり掃除をしたりする。			オ：真冬の自然事象や雪解け、日差しの暖かさなどに触れ、 冬から春への自然の変化やそれを表す言葉に関心をもつ。		
オ：秋の祭りや年末から新年の身近な地域の行事や出来事に関心を持ち、生活や遊びに取り入れる。	キ：相手のよによって 言葉の使い方や話し方を変えた方が伝わることに気付き、相手に分かるように話す。			ケ：相手のよによって 言葉の使い方や話し方を変えた方が伝わることに気付き、相手に分かるように話す。		
キ：身近な秋や冬の自然に触れ、 風や空、雲や月などの変化に気付き、自然の事象やそれを表す言葉に関心をもつ。	カ：遊びの場や用具を 繰り返し工夫したり試したりして、より楽しく遊べることに気付く。			キ：雪や氷で遊びながら、 その変化に気付いたり、性質を遊びに生かしたりする。		
コ：絵本や物語、紙芝居などを聞いて、様々な言葉や表現に興味を持ち、 遊びや生活に再現したりする。	ク：生活や遊びの中で 数量や図形、文字の役割に気付いたり、遊びに取り入れられたりする。			ク：生活や遊びの中で 数量や図形、文字の役割に気付いたり、遊びに取り入れられたりする。		
カ：遊びの場や遊びに必要な物を工夫して作り、 自分たちで考えたことを取り入れながら遊ぶ。	ケ：自分の 思ったことや考えたことを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりして、友達と一緒に遊びや生活を進める。			ケ：自分の 思ったことや考えたことを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりして、友達と一緒に遊びや生活を進める。		
キ：捕まえた昆虫などを 親しみを込めて世話したり、生死に接したりすることを通して、命を大切にしようとする。	コ：発表会をきっかけに、自分の思ったことを 動きや言葉、音楽などのいろいろな方法で表現して遊ぶ ことを楽しむ。			コ：発表会をきっかけに、自分の思ったことを 動きや言葉、音楽などのいろいろな方法で表現して遊ぶ ことを楽しむ。		
ク：木の実など自然物を 集めたり数えたり、分けたり並べたり比べたりして数や量、形に関心をもつ。	イ：なわとびや鉄棒、ボール遊びなどを 友達と競い合いながら繰り返し遊び、いろいろな遊びに挑戦しようとする。			イ：正月遊びや雪遊びなどで 自分なりのめあてをもって、諦めないでがんばろうとする。		
ケ：保育者や友達に、 したことや見たこと、感じたこと、考えたことを話したり聞いたりする。	ウ：発見したことや 感動を友達に伝えたり、相手の思いにも気付いたりして、感情を共有する。			ウ：仲のよい友達と遊びながら、 考えを膨らませたり自分の考えを伝えたりしながら、一緒に遊びを進めようとする。		
コ：発表会をきっかけに、自分の思ったことを 動きや言葉、音楽などのいろいろな方法で表現して遊ぶ ことを楽しむ。	エ：生活や遊びの中での ルールや友達との約束の大切さに気付き、守ろうとする。			エ：生活の場面で よいことと悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。		
イ：なわとびや鉄棒、ボール遊びなどを 友達と競い合いながら繰り返し遊び、いろいろな遊びに挑戦しようとする。	オ：ハロウィンや地域の公民館の文化祭、高齢者施設の訪問などで、 身近な地域の方々に関わり親しみをもつ。			オ：5歳児から 当番の仕方を教えてもらったり一緒に取り組んだりして、進級への期待をもつ。		
ウ：発見したことや 感動を友達に伝えたり、相手の思いにも気付いたりして、感情を共有する。						
エ：生活や遊びの中での ルールや友達との約束の大切さに気付き、守ろうとする。						
オ：ハロウィンや地域の公民館の文化祭、高齢者施設の訪問などで、 身近な地域の方々に関わり親しみをもつ。						
お月見会 運動会 お祭りごっこ				ハロウィン 発表会・お楽しみ会 ★幼保小中連携メディアコントロール週間		
クリスマス会				★節分・まめまき会 アメッコ市 ひなまつり会 保護者面談 感謝の会		
★架け橋会議				★教職員研究 実践発表会 卒園式・修了式		
★ 友達との関わりの中で、お互いのアイディアを認めたり取り入れたりして、一人一人が自己発揮できるようにする。 ★ 遊びの中で友達に思いを伝えたり、自分とは違う友達の思いに気付いて我慢したり気持ちを切り替えたりしながら、友達とふれ合う楽しさを味わえるように援助する。 ★ 季節の事象の変化など、自然に触れたり見たりする機会を設け、子どもの感動や発想を受け止めたり保育者の感じたことを伝えたりして言葉が豊かになるように援助する。 ○ ボール遊びや鬼ごっこ、縄跳びなど、身体を十分に動かす楽しさを味わえる遊びの場を工夫する。				★ 3歳児や5歳児と一緒に遊んだり手伝ったり、教えてもらったりして関わる姿を認めながら、自信や自己肯定感が育まれるようにしていく。 ★ 年長さんとの思い出を振り返りながら、感謝の気持ちを表すために工夫して感謝の会の準備を進められるようにする。 ○ ごっこ遊びにじっくりと取り組めるよう、必要な用具や素材等を子どもと共に考え、遊びが発展するようにする。 ○ 5歳児と一緒に経験しながら役割を引き継ぐ機会や場を設定し、進級への期待をふくらませる過程を大切にする。		
・ 運動会や発表会などの情報を早めに提供し、子どもたちの取組や育ちの様子も丁寧に伝え、参加を促していく。 ・ 保護者同士が話し合ったり活動したりする場をもち、保護者の共に子育てを楽しもうとする関係作りを工夫する。 ・ メディアコントロールについての小・中学校と連携した取組の様子やアンケート結果を伝え、年末年始の過ごし方や親子の関わりを深める遊びなどの情報を提供する。				・ 正月遊びや雪遊びなどの様子を伝え、家庭でも親子、家族で楽しんだり話題にしたりしてもらおう。 ・ 感染症の予防や発生状況の情報を、丁寧に知らせていく。 ・ 進級に向けた園での生活や遊び、友達関係などの様子を具体的に伝え成長の喜びを共有すると共に、進級への不安や課題など保護者の思いを受け止める。		

令和7年度 大館市 架け橋期のカリキュラム全体計画（5歳児 4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿
～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども～

【知識及び技能の基礎】

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、出来るようになったりする。

【思考力・判断力・表現力の基礎】

気付いたことやできるようにになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。

【学びに向かう力・人間性等】

できるようになったことや分かったことなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動や体験への意欲をもつ。

月期	4	5	6	7	8
	5歳児 第1期		5歳児 第2期		
ねらい	年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。		友達と思いを伝え合いながらイメージを共有し、力を合わせて遊びや生活を進めていく中で仲間意識を高める。		
知識及び技能の基礎	ア：体を動かす楽しさや心地よさを感じ、いろいろな運動遊びに進んで取り組む。 ア：災害時の避難の仕方や身の守り方が分かり、合図や指示に従って行動しようとする。 キ：砂遊びや泥遊びを通して、園庭の土や砂の粒の大きさや性質などの違いに気付く。 ク：縄跳びやフラフープなどの回数を数えるなど、遊びの中で必要感をもって数えることを通して数を実感する。 ケ：自分のしたこと、見たこと、聞いたこと、感じたことなどを、自分の言葉で話す。 コ：絵本や物語、紙芝居、言葉遊びなどに親しみ、言葉の楽しさや美しさに気付き、言葉を豊かにする。		ア：縄跳びや鉄棒などの遊びに応じた体を動かすコツをつかんで、十分に体を動かして遊ぶ。 オ：絵本や図鑑、身近なちらしなどから情報を取り入れ、遊びがより本物に近づいていくことを楽しむ。 キ：身近な草花などを使った遊びや水遊びなどを通して、植物の特徴や色の変化、水温の変化などに気付く。 ク：文字や数字、図形、標識などを遊びや生活に取り入れて使うことを楽しむ。 ケ：保育者や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞く。 コ：草花遊びや色水遊びなどを通して、草花や色の名前などに興味をもって調べ、言葉が広がることを楽しむ。		
	カ：リレー遊びやドッチボールなどのゲームを楽しくするために、作戦やルールを話し合って工夫する。 キ：園庭の草花や野菜、虫などについて、名前や世話の仕方などに興味をもって調べ、命あるものを大切にしようとする。 ク：遊びや生活の中で、物の準備や後片付けをしながら、数える、比べる、形を工夫するなどを意識する。 ケ：絵本や物語に親しみ、気付いたことや感想、想像したことを友達と伝え合うことを楽しむ。 コ：体験したことや考えたことを、いろいろな素材や用具を十分に活用し自分なりに表現することを楽しむ。		カ：遊びの目的に沿って時間をうまく使ったり、場所や道具を選んだりして、自分たちで遊びを進める。 キ：雨や虹、雲など偶然出会った自然の変化に関心をもち、言葉で表現したり、調べたり試したりすることを楽しむ。 ク：収穫した野菜の数を数えたり、大きさや重さを比べたりしながら、大きい・小さい、多い・少ない、重い・軽いなどの言葉の意味を実感する。 ケ：ごっこ遊びや共同製作などで友達とイメージを伝え合い、共有しながら表現する喜びを味わう。 コ：歌を歌ったり踊ったり、楽器を使って遊んだりすることを通して、曲の感じやリズムの変化を楽しんで表現する。		
学びに向かう力・人間性	イ：縄跳びや鉄棒などで、自分の目標を立てて諦めないで挑戦しようとする。 ウ：ルールのある遊びの中で、勝敗を受け入れ、友達と競い合ったり応援したりして遊ぼうとする。 エ：進んで挨拶を交わしたり「ありがとう」「ごめんなさい」の気持ちを心をこめて伝えようとする。 オ：母の日や父の日などを通して家族の大切さに気付き大切にしようとする。		イ：体を動かす遊びに繰り返し挑戦し、できるようになった達成感を味わい、様々な運動に挑戦しようとする。 ウ：友達とお互いの思いや考えを共有し、目的が達成できるように話し合ったり協力し合ったりしようとする。 エ：トラブルを通して、思い通りにいかない葛藤を味わったり気持ちを調整したりすることを繰り返し、相手の思いに気付きながら仲間としてのつながりを深めようとする。 オ：高齢者や身近な人々との関わりを通して、親しみをもち関わる楽しさを感じる。		
★行事・活動 ★職員・F・C ★交流	入園式 進級の会 避難訓練 運動会 保護者参観日 交通安全教室 保護者面談		親子遠足 セタ会 保護者参観日 お泊まり保育		
	★小学校1年生の授業参観・情報交換・架け橋カリキュラム見直し		★1年生と夏の遊び交流		
○☆環境助成の構成員	★ 年長になった喜びや緊張を受け止め、目標をもって意欲的に取り組む姿を認めながら自信をもって自分らしさを発揮できるように励ましていく。 ○ 1日の生活の流れを時計とともに表示し、活動の見通しがもてるようにする。 ○ 子どもが遊びを継続し、満足感や達成感を得られるように、新しい素材や道具などを子どもと一緒に考えて用意したり、場所や時間を十分に保障したりする。		★ 友達と協力したり競い合ったりして活動する中で、繰り返し挑戦したり試したりしようとしている姿を丁寧に読み取り、認めたり紹介したりする。 ★ お互いの思いやイメージを出し合いながらよりよい方法で遊びを展開できるように、考えを受け止めて言葉にしたり視覚化したりしながら、考えを引き出す援助をする。 ○ 遊びの楽しさや工夫を交流したり、お互いのよさを認め合ったりするために、遊びの振り返りの時間を保障する。		
	・子どもの園での様子を伝えたり、家庭での様子や育児上心配なことを聞いたりしながら、保護者の思いを受け止めるとともに、信頼関係を築いていく。 ・年長として意欲と自信をもって生活している姿を伝え、子どもの成長とともに喜び合ったり考えたりして支えていく。 ・年間の行事予定やそれをリードする年長児としての役割を伝え、理解と協力を得る。		・遊びの様子や行事などの参観、懇談を通して、「どのような育ちを願い、どんなを経験をさせたいか」、子どもの変容を伝えながら成長を共有していく。 ・遊びや生活の中でのトラブルが成長につながることを伝え、様子を伝えながら理解を得るようにする。 ・早寝・早起き・朝ご飯や絵本の読み聞かせの大切さを伝え、理解と協力を得る。		
家庭との連携					



▼幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)

ア：健康な心と体

イ：自立心

ウ：協同性

エ：道徳性・規範意識の芽生え

オ：社会生活との関わり

カ：思考力の芽生え

キ：自然との関わり・生命尊重

ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

ケ：言葉による伝え合い

コ：豊かな感性と表現

9	10	11	12	1	2	3
5歳児 第3期				5歳児 第4期		
友達と一緒に考えたり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら共通の目的に向かって遊びや生活を進める楽しさを味わう。				自分や友達のよさが分かり、認め合ったり受け入れ合ったりして協力して、遊びを進める楽しさややり遂げる満足感を味わう。		
ア：健康に関心をもち、生活リズムを整えたり、身の回りを整理、整頓したりする。 ア：収穫した野菜などを友達と一緒に食べたり、遊びに取り入れたりして、食べ物への関心を高める。 オ：地域の公共施設や小学校などを訪れ、場所や状況に応じた約束を知り、守ろうとする。 キ：紅葉や落ち葉、虫、冬芽、雪や氷の様子などから、季節の変化や不思議さを感じ、生命のサイクルに気付く。 ク：ごっこ遊びの中で看板やメニュー、名前や値段など、文字や数字を取り入れることを楽しむ。 ケ：生活や遊びの中で必要な言葉の意味が分かり、相手に分かるように話す。				ア：園生活の見通しをもち、時間を意識しながら、気持ちを切り替えて行動する。 ア：手洗い、うがい、好き嫌いを減らすなど、健康な生活のために必要なことを進んで行う。 オ：正月、節分、アメッコ市、ひな祭りなどの伝統文化を体験し、地域への親しみをもって遊びに再現する。 ク：友達と一緒に縄跳びの回数を競ったりカードの枚数を数えたりして記録して遊び、数字や表の便利さに気付く。 ク：時計や記名など、文字や数字に親しみ、生活する上で必要な情報が分かることを喜ぶ。 ケ：親しみをもって、日常の挨拶を交わしたり感謝やお礼の気持ちを言葉で伝えたりする。		
カ：遊びに必要な物のイメージを友達と共有しながら、素材や用具の特性を生かして製作し、遊び方を工夫する。 キ：草木の実や落ち葉などから身近な自然の変化を感じ取り、言葉で表現したり工夫して遊んだりすることを楽しむ。 ク：空き箱や紙などの形や大きさ、長さなどを捉え、組み合わせを考えながら作り上げることを楽しむ。 ケ：遊びや生活を振り返って楽しかったことや困ったこと、明日やりたいことなどを言葉で伝え合う。 コ：絵本や物語などのお話の世界を豊かに想像して遊びに取り入れったり、登場人物になりきって言葉や動きを工夫して表現したりすることを楽しむ。				カ：友達と一緒に遊びながら、共通の目的をもってアイディアを出し合い、試行錯誤する過程を楽しむ。 キ：気温によって雪質や氷のでき方が違うことなどから、その特性への関心を高め、試して遊ぶ楽しさを味わう。 ク：文字には人に思いを伝える役割があることに気付き、手紙などで伝えることを楽しむ。 ケ：園生活を振り返り、今まで経験したことや友達と協力した思い出などを言葉で伝え合い、成長した喜びを味わう。 コ：卒園式やお別れ会の歌や呼びかけなどで、みんなで気持ちを合わせて表現したり臆さ合ったりして、響き合いを楽しむ。		
イ：当番の仕事など、自分がしなければならないことを自覚し、忘れずにやろうとする。 ウ：劇遊びなどで、友達のよさを認め合いながら役割を分担したり力を合わせたりして遊びを創り上げることを楽しむ。 エ：自分の思いを友達に伝えたり、相手の考えを受け入れたりして、折り合いをつけて遊ぼうとする。 オ：地域の人や異年齢児、小学生など、様々な関わりの中で、相手や場面に応じて話したり接したりしようとする。				イ：園生活やクラスの自分の役割を果たそうとし、役に立つ喜びを味わう。 ウ：困ったことを友達や先生に自分から話したり、お願いしたいことを伝えたりして、自分たちで解決しようとする。 エ：楽しく生活するためにきまりを守ったり、新たに作ったり、必要に応じて作り替えたりしようとする。 オ：園生活を振り返り、自分の成長や自分が大切にされていることに気付き、周りの人たちへの感謝の気持ちをもつ。		
お月見会 ハロウィン 発表会・お楽しみ会 クリスマス会				★かるた大会 ★節分・豆まき会 アメッコ市 ひなまつり会		
運動会 就学時健診 ★1年生と秋の遊び交流 お別れ遠足				★1年生と冬の遊び交流 保護者面談		
★幼保小中連携メディアコントロール週間 就学支援委員会				★架け橋会議 ★体験入学 卒園式 お別れ会		
生涯学習フェスティバル展示 ★小学校市教研総合研（生活科）				★教職員研究実践発表会 ★情報交換 ★要録・個別の教育・保育支援計画の送付		
★ 共通の目的に向かって試行錯誤しながら実現に向かう場面を大切にし、それぞれの持ち味を発揮したりお互いによさを認め合ったりしながら協力し合うことができるような言葉掛けをする。 ○ 一人一人の興味・関心に応じた絵本との出会いを大切にし、絵本に親しむ環境を工夫する。 ○ 四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられる体験、知的好奇心を満たす遊びや環境を工夫する。				★ 今までの経験を生かして、心と体を十分に動かして自分たちで遊びを進める姿を認め、満足感をもてるようにする。 ★ 子どもと一緒に園生活を振り返りながら、5歳児としての役割をやり遂げた達成感や自他の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。 ○ 卒園に向けて、自他の成長に気付いたり、お世話になった方々への感謝の気持ちをもったりできるような環境を工夫する。		
・就学時健康診断を機会に、入学までに身に付けたい習慣や力について話題にしていこう。 ・就学に向けての心配や不安を受け止めて、安心して就学できるように子どもへの関わりを一緒に考えるとともに、必要な情報を提供し相談できる機会や場につなぐ。場合によっては小学校と情報を共有する。 ・就学に向けて、起床、就寝、食事、メディアの時間を見直し、規則正しい生活を送ることができるよう協力をお願いする。				・卒園式、入学式までの予定などの情報を提供し、見通しをもって準備できるよう、また不安がないように支援する。 ・子どもの頑張りやよさについて伝え、成長の喜びを共有し、自信と期待をもって入学できるような励ましや言葉掛けをお願いする。		

令和7年度 大館市 架け橋期のカリキュラム全体計画（1年生4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿

～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども～

【知識及び技能の基礎】	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、出来るようになったりする。
【思考力・判断力・表現力の基礎】	気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。
【学びに向かう力・人間性等】	できるようになったことや分かったことなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動や体験への意欲をもつ。

月期	4	5	6	7
	小学校1年 第1期	小学校1年 第2期		
ねらい	小学校の生活や新しい学習に興味をもって取り組み、 学級の友達や上級生、先生等と進んで触れ合い、楽しく安心して生活する。	小学校の生活や学習に見通しをもって取り組み、 共に活動する楽しさを友達と共有し、意欲的に活動や学習に取り組む。		
知識及び技能の基礎 思考力・判断力・表現力の基礎 学びに向かう力・人間性等	- 楽しく生活するために大切なこと（元気のよい返事や明るいあいさつ、時間を守ることなど）のよさを実感し、進んで実践しようとする。（アイエオ） - 友達と一緒になかよく運動や遊びに取り組み、身体を動かす気持ちよさや楽しさを味わう。（アイウ） - 新しい学習に興味をもち、教科書や鉛筆など学習用具の正しい使い方や姿勢などの学習の約束を生かそうとする。（イエ） - したことや見付けたこと、気付いたことなどを、姿勢や口形、声の大きさなどに気を付けてはきはきと話す。（ケ） 読み聞かせを聞いて本に興味をもち、学級文庫などから読みたい本を見付けて読もうとする。（オコ）	- 生活のリズムが身に付き、活動に見通しをもって準備したり約束やマナーを守って行動したりする。（アイエオ） - 運動遊びに進んで取り組み、場や用具の安全に気を付け、きまりを守って仲よく運動する。（アエオ） - 言葉遊びや詩に親しみ、言葉のリズムや響きを感じながら音読したり言葉の豊かさに気付いたりする。（オケコ） 学び合いの約束を知り、聞き手を見て話したり話し手に共感して反応しながら聞いたりする。（ウエケ） - 学校の図書館での過ごし方や使い方を知り、本を大切にして読む。（エオ）	- 話したいことの順序に気を付けながら、分かりやすく話す。（カケ） - 疑問に思ったことやもっと知りたいことなどを伝え合い、自分たちで課題を見付けていく。（カケ） - 植物や虫などの特徴、育つ場所、変化や成長の様子に着目して、観察したり世話を工夫したりする。（カキ） - 夏の自然を生かした遊びや水遊びなど、自分たちで試したり工夫したりして遊びを創り出す。（カキケコ） - 身の回りの言葉や数、自然などに興味をもち、感じたことや想像したことなどを文章や絵、歌や身体の動きなどで表現したり、生活に生かしたりする。（カキクコ） - 身の回りにある数やものの順序、長さなどの比べ方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現する。（カク）	- 学級をより楽しくするために係の仕事を見直すなど、学級の生活を自分たちで工夫しようとする。（イウオ） - 運動会などの目標に向かって自分の力を発揮したり、友達や上級生と助け合って取り組んだりすることを通して、誰とでも仲よく活動しようとする。（アイウ） - 身近な生き物の誕生や成長の様子を見つめ、親しみをもって関わり、命を大切にしようとする。（アエキ） - 学校を支えている方々と関わることを楽しみ、感謝の気持ちを感じながら自分ができることをしようとする。（イウオ）
	- 新しく出会う先生や友達と進んで触れ合い、一緒に活動する楽しさを感じる。（イウオ） 相手や場に応じたあいさつや言葉遣いなどを考えて、進んで関わろうとする。（イオケ） - 相手の気持ちを考えたり自分の行動を振り返ったりして、気持ちを調整しながら楽しく生活しようとする。（ウオ） - 自分のできることや当番、係の仕事を、友達と協力し合いながら、進んでしようとする。（アイウ）	学級をより楽しくするために係の仕事を	学級をより楽しくするために係の仕事を	学級をより楽しくするために係の仕事を
	- 新しく出会う先生や友達と進んで触れ合い、一緒に活動する楽しさを感じる。（イウオ） 相手や場に応じたあいさつや言葉遣いなどを考えて、進んで関わろうとする。（イオケ） - 相手の気持ちを考えたり自分の行動を振り返ったりして、気持ちを調整しながら楽しく生活しようとする。（ウオ） - 自分のできることや当番、係の仕事を、友達と協力し合いながら、進んでしようとする。（アイウ）	学級をより楽しくするために係の仕事を	学級をより楽しくするために係の仕事を	学級をより楽しくするために係の仕事を
★行事・活動・交流・F・C・流	始業式入学式1年生を迎える会給食開始学校探検 PTA授業参観・懇親会交通安全教室・下校指導 縦割り清掃班スタート集会 ★指導要録・就学支援情報ファイル活用 ★就学前施設職員授業参観・情報交換架け橋カリキュラム見直し	運動会 家庭訪問 避難訓練 ことばとまなびの小テスト PTA授業参観・個人面談 ★夏遊び交流 終業式 夏休み ★保育体験 ★架け橋会議 ★幼保小連携推進会議 ★幼保小担任研修会 ★教職員夏季研修会	運動会 家庭訪問 避難訓練 ことばとまなびの小テスト PTA授業参観・個人面談 ★夏遊び交流 終業式 夏休み ★保育体験 ★架け橋会議 ★幼保小連携推進会議 ★幼保小担任研修会 ★教職員夏季研修会	運動会 家庭訪問 避難訓練 ことばとまなびの小テスト PTA授業参観・個人面談 ★夏遊び交流 終業式 夏休み ★保育体験 ★架け橋会議 ★幼保小連携推進会議 ★幼保小担任研修会 ★教職員夏季研修会
○★環境援助の構成員	- 入学した喜びを共有し、意欲的に取り組もうとする姿を認め励ましたり、子どもの話を共感しながら聞いたりして、温かな安心できる学級づくりを工夫する。 - 幼児期とのつながりを考慮し、幼児期に親しんだ活動を取り入れ、自信をもって活動できるようにする。 - 子どもの思いを汲み取りながら、一人一人が安心感をもち、落ち着いて生活、学習できるように一緒に環境を工夫していく。 - 架け橋カリキュラムを生かし、生活科を中心とした関連的な内容や弾力的な時間割を工夫してスタートカリキュラムを作成する。	- 具体的な体験を通して、伝え合う、交流する、試行錯誤や繰り返す活動を保障し、お互いのよさやそれぞれの気持ちを共鳴させるようにする。 - 運動会などの取組を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けし、意欲を高める。 - 登下校や縦割り班活動、運動会などへの取組を通して、地域の方々や他学年との関係づくりをすとともに、様々な人に支えられていることに気付くようにする。	- 子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。 - 規則正しい生活習慣やメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習などを継続する大切さを啓発していく。 - 学校行事や学年の活動、PTA活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。	- 子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。 - 規則正しい生活習慣やメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習などを継続する大切さを啓発していく。 - 学校行事や学年の活動、PTA活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。
家庭との連携	- 学校の方針、1年生の目指す姿や架け橋カリキュラム・スタートカリキュラム、重点施策等について伝え、理解を得る。 1年間の予定や1週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもてるようにする。 - 連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするとともに、家庭でも話題にし、褒めたり認めたりしてもらえるようにする。	- 子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。 - 規則正しい生活習慣やメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習などを継続する大切さを啓発していく。 - 学校行事や学年の活動、PTA活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。	- 子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。 - 規則正しい生活習慣やメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習などを継続する大切さを啓発していく。 - 学校行事や学年の活動、PTA活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。	- 子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。 - 規則正しい生活習慣やメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習などを継続する大切さを啓発していく。 - 学校行事や学年の活動、PTA活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。



▼幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)

ア：健康な心と体	イ：自立心	ウ：協同性	エ：道徳性・規範意識の芽生え
オ：社会生活との関わり	カ：思考力の芽生え		
キ：自然との関わり・生命尊重	ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚		
ケ：言葉による伝え合い	コ：豊かな感性と表現		

8	9	10	11	12	1	2	3
小学校1年 第3期					小学校1年 第4期		
たくさんの友達との関わりの中で、 相手の思いや願いを感じながら自分の思いを表現し、主体的に活動や学習に取り組む。					自分や友達の成長に気が付き、 お互いに認め合い、相手の気持ちを尊重しながら、自信をもって活動や学習に取り組む。		
- 体を動かして遊んだり、食事や手洗い、うがい、汗の始末をしたりなど、健康な生活について考え、進んで実践する。（アイエ） - 言葉遊びや言葉クイズなどで身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにする。（ケクコ） 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて、話したり書いたりする。（ケコ） - タブレットのカメラの使い方を知り、植物や虫などの変化や成長に関心をもって写真や動画で記録する。（キ） - 学校の図書館にはいろいろな本があることを知り、読みたい本を選んで読む。（オコ）	- 友達の話に関心をもって聞き、共感したり質問したり、相手の発言を受けて話をつないだりする。（カケ） 経験したことや身に付けたことを生かしたり友達の考えを取り入れたりして、よりよい解決方法を考える。（ウカケ） 共通、相違、事柄の順序などに気を付けて比べながら読み、分かったことを友達と交流し考えを深める。（ウカケ） - 身近な秋の自然を生かし、作りたいものに合った材料や用具などを選び、予想して試したり見直したりしながら遊び方を工夫する。（カキケ） - 経験したことや感じたこと、想像したことなどから表したいことを見付け、材料や形、色などを工夫して表現する。（カコ） - ものを種類ごとに分類整理したり1.0のまとまりを作ったりして、簡単な絵や図を用いて表す。（カク）	- 学習や生活を振り返り、さらに楽しく仲よくなるための活動や取組などを話し合い、協力して実践する。（イウエケ） - 学習発表会などの目的に向かって、役割分担やよりよい表現方法などを話し合いながら協力して練習し、やり遂げようとする。（イウ） - 家族に感謝し、みんなの役に立つ喜びを感じながら自分ができることは進んでやっていこうとする。（イウオ） 場に適した温かい話し方や接し方を考えて、高齢者や年長児との交流を楽しむ。（イエオ）	- 友達の話に関心をもって聞き、共感したり質問したり、相手の発言を受けて話をつないだりする。（カケ） 経験したことや身に付けたことを生かしたり友達の考えを取り入れたりして、よりよい解決方法を考える。（ウカケ） 共通、相違、事柄の順序などに気を付けて比べながら読み、分かったことを友達と交流し考えを深める。（ウカケ） - 身近な秋の自然を生かし、作りたいものに合った材料や用具などを選び、予想して試したり見直したりしながら遊び方を工夫する。（カキケ） - 経験したことや感じたこと、想像したことなどから表したいことを見付け、材料や形、色などを工夫して表現する。（カコ） - ものを種類ごとに分類整理したり1.0のまとまりを作ったりして、簡単な絵や図を用いて表す。（カク）	- 学習や生活を振り返り、さらに楽しく仲よくなるための活動や取組などを話し合い、協力して実践する。（イウエケ） - 学習発表会などの目的に向かって、役割分担やよりよい表現方法などを話し合いながら協力して練習し、やり遂げようとする。（イウ） - 家族に感謝し、みんなの役に立つ喜びを感じながら自分ができることは進んでやっていこうとする。（イウオ） 場に適した温かい話し方や接し方を考えて、高齢者や年長児との交流を楽しむ。（イエオ）	- 伝えたい相手に応じて言葉や方法を選んで話したり、伝わりやすいように理由を付けて説明したりする。（カケ） 雪や氷の特徴を生かした遊びを楽しみ、予想したり試したりしながら、遊びを発展させる。（カキ） - 経験したことから心に残っている事柄を選んで文章を書き、友達と読み合って表現のよさに気付いたり感想を伝え合ったりする。（カケコ） - 新1年生に学校の楽しさを紹るために、話す材料を選び、話す順序や声の大きさ、速さを工夫して伝える。（カケコ） 6年生や地域の方などに感謝の気持ちをもち、伝えたいことを明確にして手紙を書く。（カケコ） - 数量の関係に着目して、図を用いて問題の解決方法を考え式や言葉を用いて説明する。（カクケ）	1年間を振り返り、自分のできるようになったことや役割が増えたことなどに気が付き、これからも自分の得意なことを生かして役割を果たしていこうとする。（アイウ） 1年間を振り返り、周囲の人々に支えられて成長してきたことに気が付き、感謝の気持ちを伝えようとする。（イエオ） - 新1年生のために、教室に作品を飾ったりきれいに掃除したりして、2年生への期待や意欲をもつ。（イウ） - 入学した頃と今を比較して成長している自分を実感し、苦手なことや難しいことでも進んで取り組もうとする。（アイ）	1年間を振り返り、自分のできるようになったことや役割が増えたことなどに気が付き、これからも自分の得意なことを生かして役割を果たしていこうとする。（アイウ） 1年間を振り返り、周囲の人々に支えられて成長してきたことに気が付き、感謝の気持ちを伝えようとする。（イエオ） - 新1年生のために、教室に作品を飾ったりきれいに掃除したりして、2年生への期待や意欲をもつ。（イウ） - 入学した頃と今を比較して成長している自分を実感し、苦手なことや難しいことでも進んで取り組もうとする。（アイ）
始業式秋の遠足学習発表会PTA授業参観・個人面談 読書週間就学時健診 ★5歳児との交流 幼保小中連携メディアコントロール週間 ★小学校市教研総合研（生活科部会）	始業式 読書週間 ★5歳児との交流 ★架け橋会議 ★教職員研究実践発表会 ★情報交換 ★要録、個別の教育・保育支援計画の活用	始業式 読書週間 ★5歳児との交流 ★架け橋会議 ★教職員研究実践発表会 ★情報交換 ★要録、個別の教育・保育支援計画の活用	始業式 読書週間 ★5歳児との交流 ★架け橋会議 ★教職員研究実践発表会 ★情報交換 ★要録、個別の教育・保育支援計画の活用	始業式 読書週間 ★5歳児との交流 ★架け橋会議 ★教職員研究実践発表会 ★情報交換 ★要録、個別の教育・保育支援計画の活用	始業式 読書週間 ★5歳児との交流 ★架け橋会議 ★教職員研究実践発表会 ★情報交換 ★要録、個別の教育・保育支援計画の活用	始業式 読書週間 ★5歳児との交流 ★架け橋会議 ★教職員研究実践発表会 ★情報交換 ★要録、個別の教育・保育支援計画の活用	始業式 読書週間 ★5歳児との交流 ★架け橋会議 ★教職員研究実践発表会 ★情報交換 ★要録、個別の教育・保育支援計画の活用
★学級集会や学習発表会など、共通の目的に向かって活動することで、思いを伝え合い協力して創り上げる体験をもてるようにする。 ★縦割り班や異学年の子ども、幼児、高齢者など、関わりを段階的に広げ多くの人と交流することで、相手意識をもって行動できるようにする。 ○友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に確保し、満足感や達成感をもてるようにする。	★学級集会や学習発表会など、共通の目的に向かって活動することで、思いを伝え合い協力して創り上げる体験をもてるようにする。 ★縦割り班や異学年の子ども、幼児、高齢者など、関わりを段階的に広げ多くの人と交流することで、相手意識をもって行動できるようにする。 ○友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に確保し、満足感や達成感をもてるようにする。	★学級集会や学習発表会など、共通の目的に向かって活動することで、思いを伝え合い協力して創り上げる体験をもてるようにする。 ★縦割り班や異学年の子ども、幼児、高齢者など、関わりを段階的に広げ多くの人と交流することで、相手意識をもって行動できるようにする。 ○友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に確保し、満足感や達成感をもてるようにする。	★学級集会や学習発表会など、共通の目的に向かって活動することで、思いを伝え合い協力して創り上げる体験をもてるようにする。 ★縦割り班や異学年の子ども、幼児、高齢者など、関わりを段階的に広げ多くの人と交流することで、相手意識をもって行動できるようにする。 ○友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に確保し、満足感や達成感をもてるようにする。	★学級集会や学習発表会など、共通の目的に向かって活動することで、思いを伝え合い協力して創り上げる体験をもてるようにする。 ★縦割り班や異学年の子ども、幼児、高齢者など、関わりを段階的に広げ多くの人と交流することで、相手意識をもって行動できるようにする。 ○友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に確保し、満足感や達成感をもてるようにする。	★学級集会や学習発表会など、共通の目的に向かって活動することで、思いを伝え合い協力して創り上げる体験をもてるようにする。 ★縦割り班や異学年の子ども、幼児、高齢者など、関わりを段階的に広げ多くの人と交流することで、相手意識をもって行動できるようにする。 ○友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に確保し、満足感や達成感をもてるようにする。	★学級集会や学習発表会など、共通の目的に向かって活動することで、思いを伝え合い協力して創り上げる体験をもてるようにする。 ★縦割り班や異学年の子ども、幼児、高齢者など、関わりを段階的に広げ多くの人と交流することで、相手意識をもって行動できるようにする。 ○友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に確保し、満足感や達成感をもてるようにする。	★学級集会や学習発表会など、共通の目的に向かって活動することで、思いを伝え合い協力して創り上げる体験をもてるようにする。 ★縦割り班や異学年の子ども、幼児、高齢者など、関わりを段階的に広げ多くの人と交流することで、相手意識をもって行動できるようにする。 ○友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に確保し、満足感や達成感をもてるようにする。
2学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。 - 生活科「かそくにこにこ大作戦」のねらいや内容を丁寧に伝え、継続してお手伝いに取り組めるよう協力をお願いする。 - 子どもたちの活動の様子や頑張っている姿を伝え、家庭でも褒めたり認めたりしてもらえらるようにする。	2学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。 - 生活科「かそくにこにこ大作戦」のねらいや内容を丁寧に伝え、継続してお手伝いに取り組めるよう協力をお願いする。 - 子どもたちの活動の様子や頑張っている姿を伝え、家庭でも褒めたり認めたりしてもらえらるようにする。	2学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。 - 生活科「かそくにこにこ大作戦」のねらいや内容を丁寧に伝え、継続してお手伝いに取り組めるよう協力をお願いする。 - 子どもたちの活動の様子や頑張っている姿を伝え、家庭でも褒めたり認めたりしてもらえらるようにする。	2学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。 - 生活科「かそくにこにこ大作戦」のねらいや内容を丁寧に伝え、継続してお手伝いに取り組めるよう協力をお願いする。 - 子どもたちの活動の様子や頑張っている姿を伝え、家庭でも褒めたり認めたりしてもらえらるようにする。	2学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。 - 生活科「かそくにこにこ大作戦」のねらいや内容を丁寧に伝え、継続してお手伝いに取り組めるよう協力をお願いする。 - 子どもたちの活動の様子や頑張っている姿を伝え、家庭でも褒めたり認めたりしてもらえらるようにする。	2学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。 - 生活科「かそくにこにこ大作戦」のねらいや内容を丁寧に伝え、継続してお手伝いに取り組めるよう協力をお願いする。 - 子どもたちの活動の様子や頑張っている姿を伝え、家庭でも褒めたり認めたりしてもらえらるようにする。	2学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。 - 生活科「かそくにこにこ大作戦」のねらいや内容を丁寧に伝え、継続してお手伝いに取り組めるよう協力をお願いする。 - 子どもたちの活動の様子や頑張っている姿を伝え、家庭でも褒めたり認めたりしてもらえらるようにする。	2学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。 - 生活科「かそくにこにこ大作戦」のねらいや内容を丁寧に伝え、継続してお手伝いに取り組めるよう協力をお願いする。 - 子どもたちの活動の様子や頑張っている姿を伝え、家庭でも褒めたり認めたりしてもらえらるようにする。

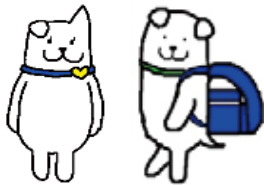
令和7年度 大館市 架け橋期のカリキュラム全体計画（2年生 4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿

～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども～

【知識及び技能の基礎】	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、出来るようになったりする。
【思考力・判断力・表現力の基礎】	気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。
【学びに向かう力・人間性等】	できるようになったことや分かったことなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動や体験への意欲をもつ。

月	4	5	6	7	8
期	小学校2年 第1期		小学校2年 第2期		
ねらい	2年生になった喜びを感じるとともに、進級して役割が増えたことが分かり、意欲的に生活を送ろうとする。		学級の目標や課題を自分のこととして捉え、自分なりの目標に向かって友達と励まし合って取り組む。		
知識及び技能の基礎 思考力・判断力・表現力の基礎 学びに向かう力・人間性等	・ 気持ちのよい挨拶や言葉遣いなどが、自分も周りの人も明るくすることに気付き、実践する。（アエオ） ・ 新しい学習に興味をもち、聞き方・話し方、話し合いの仕方などの学習の約束を知り、進んで生かす。（イウエ） ・ 身近な自然と関わり、季節を感じる言葉や季節を表す言葉を見付けて伝え合うなどして言葉を広げる。（キケコ） 年間 ・ 教科書のQR CODEを利用してデジタルコンテンツなど必要な情報をWeb検索し、分かったことを学習に活用する。（オケ） ・ 読書に親しみ、図書館の本の分け方や並べ方を知り、読みたい本を見付けて読もうとする。（オコ）		・ 食事や睡眠、運動などについて振り返り、健康や安全に気を付けて規則正しい生活を送る。（アイ） ・ 季節の言葉や詩、言葉遊びなどから語句の量を増し、話や文章の中で使いながら語彙を豊かにする。（ケコ） ・ まち探検を通して、公共物の利用の仕方、緊急時の連絡方法、インタビューの手順など、必要な知識や技能を身に付ける。（オ） ・ まち探検や野菜、生き物の生長の様子などをタブレットを使って写真や動画で記録し、活用する。（オキ） ・ 育てたい植物や生き物など、目的をもって本や図鑑を読み、調べたことや分かったことを友達に説明する。（オケ）		
	・ 知りたいことを明確にし、大事なことを落とさないようにメモをとって聞いたり聞き返したりする。（オカケ） ・ 聞き手に伝わるように、話す速さや声の大きさ、語のアクセントなどに気を付けて話す。（オカケ） ・ 様子を思い浮かべながら、感じたことが聞き手に伝わるように語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。（オカケ） ・ 身近なことや経験したことなどから伝えたいことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして書き、伝え合う。（オカケ） ・ 育てている動植物の生長の様子を観察し、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えて観察記録文を書く。（カキケ）		・ 身近なことや経験したことなどから話題を決めて必要な事柄を選び、順序を考えて話す。（カケ） ・ 伝えたいことが明確になるように、事柄、時間、大切さの順序などに気を付け、簡単な組み立てを考えて文章を書いたり、読み返して間違いを直したりする。（オカケ） ・ 生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって世話をする。（カキ） ・ 野菜の生長の様子を伝えるために必要な事柄（大きさや数、形、色、におい、手触りなど）に気を付けて観察し、絵や写真表やグラフなどの資料を作成して発表する。（カキクコ）		
	・ 2年生で出来るようになりたいことや楽しみなことなどを伝え合い、生活や学習に意欲的に取り組もうとする。（イケ） ・ クラスの目標や係活動について話し合い、楽しく生活するために自分の役割に進んで取り組もうとする。（イウオ） ・ 新1年生との遊びや学校探検などで、相手や場に応じた言葉遣いや表情などを考えて進んで関わろうとする。（イウオケ） ・ 運動会の目標を伝え合ったり、リレーなどの運動や応援の練習などに進んで取り組んだりし、誰とでも仲よく活動したり勝敗を受け入れたりしようとする。（アウオ）		・ 生活や学習を振り返って自分や友達のがんばりを伝え合い、これからの生活で努力したいことを具体的に考える。（イウケ） ・ 学級会の計画、話し合い、実践、振り返りなどの流れに見通しをもちたり、話し合いの役割を体験したりしながら、友達と協力して課題解決に取り組もうとする。（イウカケ） ・ 友達の発言に関心をもって聞き、さらに聞きたいことを質問し合って考えを引き出し、くわしく聞こうとする。（ウカケ） ・ 地域の様々な施設を利用したりインタビューしたりする活動を通して、地域の場所や人々に親しみをもち適切に利用したり相手や場に応じた行動をしようとする。（ウエオ）		
	★行事・生活活動 ★児童・児童会 ★交流活動		★児童・児童会 ★交流活動		
〇☆環境援助の構成ポイント	★進級の喜びを共有し、2年生の活動への期待を高めたり、思いや願いを引き出したたりして、楽しく安心できる学級づくり、環境作りを工夫する。 ★運動会やまち探検などの活動を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けし、意欲を高める。 ○ 架け橋カリキュラムを生かして、子どもたちの思いを基に、生活科を中心とした総合的・関連的な指導ができるよう、また、保護者や地域の先生など様々な人や対象とじっくりと関わりをもてるよう配慮して年間計画を立てる。		★観察や探検の課題意識をもたせ、活動の見通しを立てたり友達と考えを比べたり、様々な表現方法を試したりする活動を意図的に設定し、思考力、表現力を育むようにする。 ★野菜の観察やまち探検など、同じグループで気付きを共有したり比べたりしながら協力し合って活動できるように励ます。 ○ 生活科と道徳の時間とを関連させ、採集した生き物のかけがえのない命を大切にしようとする心情を育て、意欲的に世話や観察を継続できるようにする。		
	・ 学校の方針や架け橋カリキュラムなどを基に、2年生の発達の特徴や目指す姿、重点施策等について伝え、理解を得る。 ・ 1年間の予定や1週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもてるようにする。 ・ 連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするとともに、家庭でも話題にし、褒めたり認めたりしてもらえるようにする。		・ 2年生としての役割をもって頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。 ・ 規則正しい生活習慣やメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習などを継続する大切さを啓発していく。 ・ 生活科のまちたんけんや野菜の栽培活動などのねらいを伝え、学習ボランティアへの協力をお願いする。		
	★縦割り清掃班スタート集会		★縦割り清掃班スタート集会		
	★縦割り清掃班スタート集会		★縦割り清掃班スタート集会		
家庭との連携	★縦割り清掃班スタート集会		★縦割り清掃班スタート集会		
	★縦割り清掃班スタート集会		★縦割り清掃班スタート集会		
	★縦割り清掃班スタート集会		★縦割り清掃班スタート集会		
	★縦割り清掃班スタート集会		★縦割り清掃班スタート集会		



▼幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)

ア：健康な心と体	イ：自立心	ウ：協同性	エ：道徳性・規範意識の芽生え
オ：社会生活との関わり	カ：思考力の芽生え		
キ：自然との関わり・生命尊重	ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚		
ケ：言葉による伝え合い	コ：豊かな感性と表現		

9	10	11	12	1	2	3
小学校2年 第3期				小学校2年 第4期		
学級の目標の実現や楽しい学校生活のために、自分の役割を意識しながら友達と協力して取り組む。				友達との関わりの中で自他の成長に気付き、お互いのよさを生かしながら、活動や学習に取り組む。		
・ 善悪を判断して、よいと思うことを進んで行ったり気持ちのよい挨拶や言葉遣いを心掛けたりする。（アイエ） ・ 人物を表す言葉、物の様子や気持ちを表す言葉などを集め、感じたことや思ったことを伝えるときに活用する。（コ） ・ 数え歌やいろは歌などの長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の面白さや豊かさに関心。（オコ） ・ 電話やビデオ通話、ファックス、電子メールなど、離れている人との通信手段を知り、大人と一緒に活用する。（オケ） ・ 進んで読書に親しみ、お気に入りの本や好きな場面などを紹介したり音読したりする。（ケコ）				・ 自分の生活や成長を振り返り、体の成長や役割が増えたことだけでなく、優しさや思いやり、我慢する心など、内面の成長にも気付く。（アイエ） ・ 世界の昔話や神話などを読んだり読み聞かせを聞くなどして、世界の文化や風土などに親しむ。（オコ） ・ 伝えたい人やことに適した表現方法（新聞、絵本、パンフレット、ポスター、劇、デジタルアルバム、デジタル図鑑など）を知り、発表に活用する。（カケコ） ・ スキー遊びなどの冬の遊びの楽しさや喜びを味わい、自分の能力やめあてに適した技を身に付ける。（アイ）		
・ 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて、書いたり話したりインタビューしたりする。（オカケ） ・ 付箋や思考ツールを使って、考えを整理したり順序を考えたり、よりよい考えを選んだりする。（カケ） ・ 文の中における主語と述語の関係や共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係を考え内容を読み取る。（カ） ・ 身近な物を使って動くおもちゃを作り、遊びながら改良したりもっと楽しくなるように遊び方を工夫したりする。（カ） ・ 物語や曲などの表す情景を感じ取り、演奏、身体表現などの表現活動を楽しみながらよりよい表現に高める。（コ）				・ 1年を振り返り、伝えたい事柄に応じて、はじめ、中、終わりなどの組み立てを考え、順序よく発表する。（カケコ） ・ 丁寧な言葉に気を付けたり文と文との続き方を確かめたりしながら、お世話になった方や友達に手紙を書く。（エオケ） ・ 物語を読んで、感じたことや考えたことなどを友達と伝え合い、様々な感じ方や考え方に触れたり、友達の考えに質問したり感想を伝えたりして考えを深める。（カケコ） ・ 家族から聞いたエピソードや写真・動画、自分の作品などから自分らしさや自身の変容を実感し、適した材料を選んで工夫して作品にまとめる。（カケコ）		
・ 学級の困りごとを出し合って原因や解決方法を話し合い、みんなのためにできることをしようとする。（イウエ） ・ 学習発表会の話し合いや練習を通して、お互いのよさを認め合い最後までやり遂げようとする。（イウオ） ・ 地域のよさを伝える活動を通して、地域の人々の思いや工夫が自分を支えていることに気付き、地域の人々と進んで交流しようとする。（ウオカ） ・ 1年生を招待しておもちゃで遊ぶ活動を通して、相手の立場になって遊びのルールを考えたり適切に接したりしようとする。（ウエオ）				・ これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、3年生でも自分のよさや可能性を生かし、なりたい自分を目指して意欲的に生活しようとする。（ウオケ） ・ これまでの生活を振り返り、男女に関係なく一人一人のよさを認め合い協力し合おうとする。（アイウ） ・ 他国の人々や言葉、文化などに触れ、進んで交流したり親しんだりしようとする。（イオ） ・ 「6年生を送る会」や卒業式の練習や準備を通して、6年生に感謝の気持ちを持ち、心から伝えようとする。（ウエオ）		
まち探検Ⅱ 学習発表会 PTA授業参観				始業式 避難訓練 スキー教室 節分 ひなまつり		
読書週間 施設訪問 終業式				まち探検発表会 PTA授業参観・懇談会 ☆6年生を送る会		
会議 ☆1年生とおもちゃで遊ぼう 冬休み ★架け橋会議 英語に親しむ学習 チャレンジなわとび 卒業式				★小学校市教研総合研 ☆幼保小中連携メディアコントロール週 ★教職員研究実践発表会 修了式		
☆ 学習発表会や地域探検の発表など共通の目的に向かって活動することを通して、目的や考えを友達と共有し協力して創り上げる体験をもてるようにする。 ☆ 幼児や1年生、地域の方々など、多くの人たちと関わることで、相手の思いを受け止めて適切な言葉を選んだり優しく接したりできるようにする。 ○ 友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に保障し、課題解決した満足感や達成感をもてるようにする。				☆ 様々な人たちとの関わりを振り返り、支えてくれた人たちへの感謝の気持ちをもたせられるようにする。 ☆ 入学してから2年間を振り返り、一人一人の成長を表すのに適した内容や方法を選び、自分の成長に誇らしい気持ちで作品作りや発表ができるようにする。 ☆ 3年生の学習や生活の様子を参観したり、3年生にインタビューしたりして、進級への期待を高める。 ○ 2年間の成長に関心を持ち、自分や友達のよさを実感できるように、子どもの作品やカード、写真などを掲示する。		
・ 2学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。 ・ 生活科「まちのすてきをつたえよう」の発表会への参加と、達成感、満足感につながる感想をお願いする。 ・ 子どもたちの活動や成長の様子を作品や写真、動画などで具体的に伝え、家庭でも話題にし、褒めたり認めたりしてもらえるようにする。				・ キャリアノートを活用して子どもの成長を保護者と共有し、自信をもって進級できるようなコメントをお願いする。 ・ 3年生の発達の特徴や課題について説明し、自己有用感や自立心を高める関わり方を考えてもらうようにする。 ・ 3年生で新しく始まる教科や学習用具について丁寧に説明し、子どもと一緒に確認しながら、進級に向けての準備をしてもらうようにする。		

令和7年度 桂城小学校区 架け橋期のカリキュラム全体計画（5歳児 4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿

大館市 周囲の人々と環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども

桂城小学校区 豊かな体験を通して、主体的に友達と関わり合いながら共に育ち合う子ども

月期	4	5	6	7	8	9
	5歳児 第1期			5歳児 第2期		
ねらい	年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。			友達と思いを伝え合いながらイメージを共有し、力を合わせて遊びや生活を進めていく中で仲間意識を高める。		
小学校区で目指す子どもの姿	・自分のしたいことや思ったことを相手に話そうとする。			・保育士等や友達の話すことに興味をもって聞こうとする。		
	・絵本や物語の展開に興味をもち、友達と一緒に楽しんで聞く。			・絵本や物語などに親しみ、興味や関心をもち、想像する楽しさを味わう。		
	・自然や身近な物に関心をもち、遊びに取り入れ、作ったり、工夫したりする。			・遊びの目的に沿って場所や用具、素材などを選び、自分たちで遊びを進める。		
表現力・思考力・判断力・意欲の育成	・園庭の草花や野菜、虫などについて、名前や世話の仕方などに興味をもって調べたり、友達と伝え合ったりすることを楽しむ。			・ごっこ遊びや共同製作など友達とイメージを伝え合いながら、遊ぶことを楽しむ。		
	・年長児になったという自覚や、園生活の流れに見通しをもちながら、自分らしさを発揮する。			・身体を動かす遊びに繰り返し挑戦し、できるようになった達成感を味わい、様々な運動に挑戦しようとする。		
学びの楽しさ・人間性・社会性	・ルールのある遊びの中で、勝敗を受け入れ、友達と競い合ったり応援したりして遊ぼうとする。			・トラブルを通して、思い通りにいかない葛藤を味わったり気持ちを調整したりすることを繰り返し、相手の思いに気付きながら仲間としてのつながりを深める。		

共通して充実を目指す活動・体験

言葉で伝え合う力

想像の世界

友達の世界

年長になったよ

友達と一緒に遊ぼう

＜はっちタイム＞

＜おはなしに親しむ＞

＜友達と話そう＞

＜想像の世界＞

＜年長になったよ＞

＜友達と一緒に遊ぼう＞

＜はっちタイム＞

＜おはなしに親しむ＞

＜友達と話そう＞

＜想像の世界＞

＜年長になったよ＞

＜友達と一緒に遊ぼう＞

行事・FC ★子どもの交流（例）	入園式	こいのぼり集会	祖父母交流会	運動会	七夕会	夕涼み会	おみこしねり歩き
	保育参観	★桂城公園清掃活動	個人面談	★夏の自然観察会・川遊び			
職員の交流 他（例）	小学校授業参観・情報交換会						
	架け橋会議 保育体験 夏季研修会						
環境援助の 構構ポイント	★ 年長になった喜びや緊張を受け止め、目標をもって意欲的に取り組む姿を認め励まし、自信をもって自分らしさを発揮できるようにする。						
	○ 1日の生活の流れを時計とともに表示し、活動の見通しがもてるようにする。						
家庭との連携	・子どもの発育上のことや家庭での様子を聞いたり、園での様子を伝えたりしながら、保護者の思いを受け止めるとともに、信頼関係を築いていく。						
	・年長として意欲と自信をもって生活している姿を伝え、子どもの成長とともに喜び合ったり考えたりして支えていく。						
	・年間の行事予定やそれをリードする年長児としての役割を伝え、理解と協力を得る。						
	・早寝・早起き・朝ご飯や絵本の読み聞かせの大切さを伝え、理解と協力を得る。絵本の貸し出しを推奨する。						

桂城小学校区 桂城小学校 城南保育園分園 沼館保育所

＜共通の視点＞ 言葉で伝え合う力 自立心 協同性

友達と一緒に考えたり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら共通の目的に向かって遊びや生活を進める楽しさを味わう。

自分や友達のよさが分かり、認め合ったり受け入れ合ったりしながら、協力して遊びを進める楽しさややり遂げる満足感を味わう。

＜はっちタイム＞

みんなに伝えよう

＜感謝の気持ちを伝えよう＞

＜物語に親しむ＞

友達と一緒にやってみよう

就学時健診

発表会・お楽しみ会

クリスマス会

保育参観

豆まき

ひな祭り

卒園式

秋の遠足

★1年生との交流

学習発表会予行参観

★図書館へ行ってみよう

あめっこ市

お別れ会

★幼保小交流会

幼保小中連携メディアコントロール週間

小学校市教研総合研への参加

架け橋会議

教職員実践研究会

要録・個別の教育・保育支援計画の送付

情報交換会

☆ 共通の目的に向かって試行錯誤しながら実現に向かう場面を大切に、それぞれの持ち味を発揮したりお互いによさを認め合ったりしながら協力し合うことができるような言葉掛けをする。

○ 一人一人の興味・関心に応じた絵本との出会いを大切に、絵本に親しむ環境を工夫する。

○ 四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられる体験、知的好奇心を満たす遊びや環境を工夫する。

・就学時健康診断を機会に、入学までに身に付けたい習慣や力について話題にしていく。

・就学に向けての心配や不安を受け止めて、安心して就学できるように子どもへの関わりを一緒に考えるとともに、必要な情報を提供し相談できる機会や場につなぐ。場合によっては小学校と情報を共有する。

・子どもと絵本と一緒に楽しめるように、おすすめ絵本の紹介をする。

・就学に向けて、起床、就寝、食事やメディアの時間を見直し、規則正しい生活を送ることができるよう協力をお願いする。

☆ 今までの経験を生かして、心と体を十分に働かせて自分たちで遊びを進める姿を認め、満足感をもてるようにする。

☆ 子どもと一緒に園生活を振り返りながら、5歳児としての役割をやり遂げた達成感や自他の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。

○ 卒園に向けて、自他の成長に気付いたり、お世話になった方々への感謝の気持ちをもちたりできるような環境を工夫する。

・卒園式、入学式までの予定を示し、見通しをもって準備できるように支援する。

・個人面談やお迎え時、子どもの頑張りやよさについて伝え、成長の喜びを共有し、自信と期待をもって入学できるような励ましや言葉掛けをお願いする。

大 館 市 周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども
桂城小学校区 豊かな体験を通して、主体的に友達と関わり合いながら共に育ち合う子ども

＜共通の視点＞
言葉で伝え合う力
自立心
協同性

桂城小学校区
桂城小学校
城南保育園分園
沼館保育所

5		6		7		8		9		10		11		12		13		14		15	
小学校1年 第3期										小学校1年 第4期											
たくさんの友達との関わりの中で、相手の思いや願いを感じながら自分の思いを表現し、主体的に活動や学習に取り組む。 - 友達の話を聞いて、質問や感想を伝えたり、相手の発言を受けて話をつないだりする。 - 文字等を通して新しい知識を得たり、友達とのやりとりの中で様々な考えがあることに気付いたりする。 - 経験したことや身に付けたことを活用したり友達の見方や考え方を取り入れたりしながら課題を解決する。 - 伝えたいことの順序に気を付けて分かりやすく伝えたり、理由を付けて説明したりする。 - 友達や家族、地域の方に感謝し、みんなの役に立つ喜びを感じながら自分の役割を果たそうとする。 - これまでの学級活動（係や当番）を振り返り、よりよい学級にするために協力し合ってやり遂げようとする。										自分や友達の成長に気付き、お互いに認め合い、相手の気持ちを尊重しながら、自信をもって活動や学習に取り組む。 - 学習の見通しをもって、積極的に友達の話や質問や感想を述べて学習をつないでいく。 - 体験や活動を振り返り、自分なりの思いや考えを話したり書いたりしながら、言葉の力を広げていく。 - 互いに意見を交わし合いながら考え方を整理し、話し合いを通して皆で課題を解決していく。 - これまでの学習や経験を生かし、自分の伝えたい目的や相手に応じて、言葉や方法を選んで伝える。 - 新1年生に楽しんでもらうためにできることを考えたりみんなで話し合ったりして、自分の役割を果たそうとする。 「白鳥の旅立ち集会」や卒業式などを、異学年の児童や家庭、地域への感謝の気持ちをもってやり遂げようとする。											
生活科「かるたでたのしもう」 ☆桂城下町カルタを用いて、園児と一緒に遊びながらカルタの文に興味をもつ。 国語「ともだちとはなしではなしかこう」 ・絵を見て想像したことや友達と伝え合い、お話を作る。 ＜たのしい あき いっぱい＞ ○身近な自然を取り入れたおもちゃや遊びを、友達と一緒に創り出し、交流を楽しむ。 国語「しらせたいな見せたいな」 ・秋の自然の中で活動することを通して、見付けた物や遊びなど秋のおすすめを友達に紹介する。 生活科「あきのおもちゃをつくろう」 ・葉や木の実などの秋の自然物や身の回りの物を用いたおもちゃを作る。 生活科「いっしょにあそぼう」 ・友達と遊びながら、園児が楽しめるような遊び方やルールを工夫する。 ・作ったおもちゃで、園児と一緒に交流を楽しむ。園児のために、遊びの説明の仕方や声のかけ方を工夫する。										＜じぶんのできるよ＞ ○家庭について家族にインタビューしたり友達と伝え合ったりして、自分にできることを果たそうとする。 生活「じぶんのできることをしよう」 ・家族がどのようなことをしているか気付き、自分ができることを決めて実際にやる。 生活「これかもつづけよう」 ・こんなお手伝いをしたよ発表会をし、活動を振り返って頑張り頑張りを認め合う。 ・家庭での生活は互いに支え合っていること気付き、今後も家庭での自分の役割を果たそうとする思いをもつ。 道徳「きゅうしょくとうばん」 ・みんなのために働くことのよさについて考える。 道徳「おふろそうじ」 ・勉強や仕事をしっかりとすることの気持ちよさについて考え、やるべきことを行おうとする気持ちをもつ。 道徳「これならできる」 ・進んで家の手伝いなどをして家族のために役に立とうとする気持ちをもつ。											
＜もうすぐ2ねんせい＞ ○1年間を振り返ってできるようになったことを伝え合い、周りの人に対する感謝の気持ちや、進級への期待感や意欲をもつ。 生活「あたらしい1年生をしょうたいしよう」 ・新1年生が学校を楽しみに入学できるよう、どんなことができるか話し合い、立てた計画をもとに活動する。 国語「いいこといっぱい 一年生」 ・1年間を振り返り、楽しかったことや嬉しかったこと、頑張ったことやできるようになったことについて友達と伝え合う。 道徳「みんな みんな ありがとう」 ・入学してから1年間、様々な人の支えがあって成長したことに気付き、感謝の気持ちを伝える手紙を書く。																					
2学期始業式 学習発表会 就学時健診 ふるさと学習 ドリーム集会 幼保小中連携メディアコントロール週間										2学期終業式 さつまいも堀り なわとび集会 ☆秋の遊び交流会 架け橋会議											
3学期始業式 スキー授業 ☆幼小交流会 教職員実践研究会										CRT検査 白鳥の旅立ち集会 修了式 学期末PTA 要録・個別の教育・保育支援計画の活用 情報交換会											
☆ 学級集会や学習発表会など、共通の目的に向かって活動することで、思いを伝え合い協力して創り上げる体験をもてるようにする。 ☆ 縦割りの班や異学年の子どもや、幼児との関わりを段階的に広げ多くの人と交流することで、相手意識をもって行動できるようにする。 ○ 見通しをもって、友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に確保し、満足感や達成感をもてるようにする。 ・ 2学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。 ・ 生活科「じぶんのできるよ」のねらいや内容を丁寧に伝え、継続してお手伝いに取り組めるよう協力をお願いする。 ・ 子どもたちの活動の様子や頑張っている姿を伝え、家庭でも褒めたり認めたりしてもらえようとする。										☆ 体験入学では新1年生が入学を楽しみにするような活動を工夫できるようにする。 ☆ 「ふわふわ言葉」を掲示し、お互いのよさを実感できるようにする。 ☆ 各教科を通して、1年間の成長を認め、2年生の学習や生活への意欲を高める。 ○ 1年間の成長に気付き、自分や友達のよさを実感できるように、子どもの作品やカード、写真などを掲示する。 ○ 情報交換を基に架け橋カリキュラムの改善を図る。 ・ 子どもの成長について、家庭でも褒めたり認めたりしてもらうようお願いする。 ・ 自信をもって進級できるように、子どもが自分では気付かない内面の成長についても気付かせてもらうようにする。 ・ 生活リズムや持ち物など、子どもと一緒に話し合ったり確認したりしながら、進級に向けての準備をしてもらうようにする。											

令和7年度 城南小学校区 架け橋期のカリキュラム全体計画（5歳児 4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿

大館市 周囲の人々と環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども

城南小学校区 もの・人・ことと進んで関わり、思いを伝え合いながらつながる喜びを味わう子ども

～ナイストライを合言葉に～

月期		4	5	6	7	8	9
		5歳児 第1期			5歳児 第2期		
ねらい		年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。			友達と想いを伝え合いながらイメージを共有し、力を合わせて遊びや生活を進めていく中で仲間意識を高める。		
小学校区で目指す子どもの姿	知識及び技能	・自分の気持ちを相手にわかるように言葉で伝えようとする。 ・絵本や歌、言葉遊びなどに親しみ、言葉を広げる。			・保育者や友達の話に興味をもって聞こうとする。 ・草花遊びや色水遊びなどを通して、草花や色の名前などに興味をもって調べ、言葉が広がることを楽しむ。		
	表現技能 力の力力基	・見付けたことや気付いたことを、友達と伝え合うことを楽しむ。 ・遊びを楽しむために、作戦やルールを話し合って工夫する。			・ごっこ遊びや共同製作などで友達とイメージを伝え合い、共有しながら表現する喜びを味わう。 ・遊びの目的に沿って、場所や道具を選んだり作ったりして、自分たちで遊びを進めようとする。		
	生活技能 生活力力力基	・年下の友達に優しく接したり、お世話したりしながら仲よく遊ぶ。 ・年長ならではの仕事に張り切って取り組む。（喜び・自信）			・友達とお互いの思いや考えを共有し、目的が達成できるように話し合ったり、協力し合ったりしようとする。 ・体を動かす遊びに繰り返し挑戦し、できるようになった達成感を味わい、様々な運動に挑戦しようとする。		
共通して充実を目指す活動・体験	思いを伝え合う力・協同する力・挑戦する力	みんなで伝え合おう〈みんなタイム〉					
		○朝の会・帰りの会 ・今日遊びたいことを伝え合う。 ・今日の遊びを振り返り、明日の遊びにつなげる。			○遊びの振り返り ・遊び方、必要なもの、場所、時間 ・困っていること、工夫したこと		
		年長になったよ ○年長になった喜びと意欲をもち、友達や年下の子どもたちと親しみをもって関わる。 ・年長になった喜びをみんなと伝え合う。 ・年長児として、年下の子どもたちと遊んだり、手伝ったりして関わりながら、思いやりの気持ちや自信を深める。 ・年長としての役割に進んで取り組む。			みんなでやりとげよう〈おまつり・夕涼み会・お泊り会〉 ○園の行事などに向けて、自分たちでやってみたいことを話し合い、実現に向けて協力し合って進める。 ・やりたい活動を話し合い、協力して必要なものを準備する。 ・楽しくするために大切なマナーやルールを考え、守ろうとする。 ・楽しかったことや頑張ったことを伝え合い、達成感を味わう。		
		みんなで遊ぼう ○興味をもったことや気付いたことなどを友達に伝え、イメージを共有しながら遊ぶ。 ・虫探しや草花遊びなどを通して、気付いたこと、発見したことを伝え合う。 ・絵本や図鑑で調べて分かったことを伝え合う。 ・遊びのイメージを共有し、協力し合って遊ぶ。			みんなでやってみよう〈縄跳び・ボール遊び・運動会〉 ○相手の思いや考えに気付き、受け入れたり共感し合ったり、自分の気持ちをコントロールしたりしながら遊びを進める体験をする。 ・目標に向かってあきらめず繰り返し挑戦し、できた喜びを味わう。 ・自分の興味のあることや少し難しいことにも友達と励まし合ったり、応援し合ったりする。 ・友達とルールや作戦を話し合い、試したり、工夫したりして遊ぶ。		
行事・FC ★こどもの交流（例）	入園式 避難訓練 交通安全教室 保護者面談 運動会 七タ会 おまつり お泊り会 親子遠足 保育参観日 さつまいも苗植え さつまいも堀り 祖父母交流会 保育参観日 夕涼み会						
職員の交流 他（例）	小学校授業参観・懇談会参加 幼保小連携推進会議 幼保小担任研修会 保育参観・保育体験 授業参観 架け橋会議 夏季研修会						
○☆環境援助の構成ポイント	☆ 年長になった喜びや緊張を受け止め、目標をもって意欲的に取り組む姿を認め励まし、自信をもって自分らしさを発揮できるようにする。 ○ 1日の生活の流れを時計とともに表示し、活動の見通しがもてるようにする。 ○ 子どもが遊びを継続し、満足感や達成感を得られるように、新しい素材や用具などを子どもと一緒に考えて用意したり、場所や時間十分に保障したりする。			☆ 友達と協力したり競い合ったりして活動する中で、繰り返し挑戦したり試したりしようとしている姿を丁寧に読み取り、認めたり紹介したりする。 ☆ お互いの思いやイメージを出し合いながらよりよい方法で遊びを展開できるように、考えを受け止めて言葉にしたり視覚化したりしながら、考えを引き出す援助をする。 ○ 遊びの楽しさや工夫を交流したり、お互いのよさを認め合ったりするために、遊びの振り返りの時間を保障する。			
家庭との連携	・子どもの発育上のことや家庭での様子を聞いたり、園での様子を伝えたりしながら、保護者の思いを受け止めるとともに、信頼関係を築いていく。 ・年長として意欲と自信をもって生活している姿を伝え、子どもの成長とともに喜び合ったり考えたりして支えていく。 ・年間の行事予定やそれをリードする年長児としての役割を伝え、理解と協力を得る。			・遊びの様子や行事などの参観、懇談を通して、「どのような育ちを願い、どんな経験をさせたいか」、子どもの変容を伝えながら成長を共有していく。 ・遊びや生活の中でのトラブルが成長につながることを伝え、様子を伝えながら理解を得るようにする。 ・早寝・早起き・朝ご飯や絵本の読み聞かせの大切さを伝え、理解と協力を得る。			



<共通の視点>
思いを伝え合う力
協同する力
挑戦する力

城南小学校区
城南小学校
大館八幡こども園
大館幼稚園 城南保育園

10	11	12	1	2	3
5歳児 第3期			5歳児 第4期		
友達と一緒に考えたり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら共通の目的に向かって遊びや生活を進める楽しさを味わう。			自分や友達のよさが分かり、認め合ったり受け入れ合ったりしながら、協力して遊びを進める楽しさややり遂げる満足感を味わう。		
・自分がしたことや思ったことを話そうとし、相手の話を聞こうとする。 ・絵本や物語、紙芝居、言葉遊びなどに親しみ、言葉の楽しさや美しさに気付き、言葉を豊かにする。			・思ったことや考えたことを相手に分かるように話すとともに相手の話に興味をもって聞く。 ・あいさつなどその場に応じた言葉を適切に使いながら、友達、年少の子ともたち、先生などと関わる。		
・気付いたことや想像したことを友達と伝え合い、生活や遊びに取り入れたりする。 ・絵本や物語に親しみ、気付いたことや想像したことを友達と伝え合ったり情景や心情のイメージを広げて遊びに取り入れたりする。			・身近な事象と関わる中で、変化や仕組み、法則性などに気付き、伝え合ったり工夫したりして楽しむ。 ・様々な人との関わりの中で刺激を受けながら自分の見方や考え方を広げる。		
・運動会や発表会に向かって友達と協力し合い、仲間意識を高める。 ・自分の目標を立て、できるまで挑戦することの楽しさや達成感を味わう。			・友達のよさに気付き、認めたり、相手の思いを受け入れたり（折り合いをつける）して遊ぼうとする。 ・園生活やクラスの自分の役割を果たそうとし、役に立つ喜びを味わい自信をもつ。		
〇自分の思いを友達と伝え合い、友達と認め合う。 ・今日遊びたいことを伝え合う。 ・今日の遊びを振り返り、明日の遊びにつなげる。 ・友達の話を興味をもって聞いたり、認め合ったりする。 ・友達のよさに気付いて、周囲の友達に伝える。					
みんなでやりとげよう〈運動会・発表会・クリスマス会〉 〇共通の目的に向かって、みんなでアイデアを出し合ったり協力し合ったりして自分たちで進め、やり遂げる。 ・やりたいことや役割を話し合う。 ・友達とアドバイスし合ったり、教え合ったりする。 ・必要なものを一緒ににつくる。 ・友達の考えを受け入れたり、折り合いをつけたりする。 ・みんなで協力してやり遂げた達成感を味わう。 ・自分や友達のがんばりを認め合う。			みんなで体を動かして遊ぶ〈雪遊び〉 〇友達と一緒に体を動かすことを楽しみ、苦手な運動にも挑戦する。 〈スキー遊び・そり競走・雪合戦など〉 ・どんな遊びをするか話し合う。 ・遊びに必要なものを協力して作ったり準備したりする。 ・ルールや作戦、遊び方を考える。 ・チームで競争したり応援し合ったりして楽しむ。		みんなでありがとう〈お別れ会・卒園式〉 〇園生活を振り返ったり思い出したりして、自分たちを支えてくれた人に感謝の気持ちを伝える。 ・がんばったことやできたようになったことを伝え合い、自分や友達の成長に気付く。 ・感謝の気持ちを言葉や歌で伝える。 ・お世話になった先生や友達異年齢児にプレゼントを製作したり手紙を書いたりして渡す。 ・クラスや園の中をきれいに掃除したり飾ったりする。
みんなでやってみよう 〇やり取りしてイメージを共有しながら、友達となかよく活動することを楽しむ。 〈製作活動〉 ・試行錯誤しながら作る。 ・イメージを共有し、相談しながら作る。 ・作ったものを見せ合い共感したり、一緒に遊んだりする。			〈伝承遊び・ルールのある遊び〉 ・かるた、すごろく、コマ回し、ボール遊びなどの遊び方やルールを教え合う。 ・チーム分けや作戦、自分たちのルールなどを話し合い、工夫して遊ぶ。 ・自分の目標を決めて記録に挑戦したり、友達と競い合ったりして、勝敗を喜んだり悔しがったりしながら一体感を感じ、繰り返し遊ぶ。 ・友達と意見が違っても気持ちに折り合いをつけながら遊ぶ。		
就学時健診	おゆうぎ会	クリスマス会	もちつき	豆まき	ひなまつり
わくわくツアー	ハロウィン		保育参観日	☆体験入学	お別れ会
☆城南オリンピック交流	☆1年生との交流				卒園式
幼保小中連携メディアコントロール週間					
小学校市教研総合研への参加			架け橋会議		
			教職員実践発表会		要録・個別の教育・保育支援計画の送付
☆ 共通の目的に向かって試行錯誤しながら実現に向かう場面を大切にし、それぞれの持ち味を発揮したりお互いによさを認め合ったりしながら協力し合うことができるような言葉掛けをする。 〇 一人一人の興味・関心に応じた絵本との出会いを大切にし、絵本に親しむ環境を工夫する。 〇 四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられる体験、知的好奇心を満たす遊びや環境を工夫する。			☆ 今までの経験を生かして、心と体を十分に働かせて自分たちで遊びを進める姿を認め、満足感をもてるようにする。 ☆ 子どもと一緒に園生活を振り返りながら、5歳児としての役割をやり遂げた達成感や自他の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。 〇 卒園に向けて、自他の成長に気付いたり、お世話になった方々への感謝の気持ちをもったりできるような環境を工夫する。		
・就学時健康診断を機会に、入学までに身に付けたい習慣や力について話題にしていく。 ・就学に向けての心配や不安を受け止めて、安心して就学できるように子どもへの関わりを一緒に考えるとともに、必要な情報を提供し相談できる機会や場につなぐ。場合によっては小学校と情報を共有する。 ・就学に向けて、起床、就寝、食事やメディアの時間を見直し、規則正しい生活を送ることができるよう協力をお願いする。			・卒園式、入学式までの予定などの情報を提供し、見通しをもって準備できるよう、また、不安がないように支援する。 ・個人面談やお迎え時、子どもの頑張りやよさについて伝え、成長の喜びを共有し、自信と期待をもって入学できるような励ましや言葉掛けをお願いする。		

令和7年度 城南小学校区 架け橋期のカリキュラム全体計画（1年生 4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿									
大 館 市 周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども 城南小学校区 もの・人・ことと進んで関わり、思いを伝え合いながらつながる喜びを味わう子ども ～ナイストライを合言葉に～									
月 期	4 小学校1年 第1期	5	6 小学校1年 第2期	7					
ね ら い	小学校の生活や新しい学習に興味をもって取り組み、 <u>学級の友達や上級生、先生と進んで触れ合 い、楽しく、安心して生活する。</u>	小学校の生活や学習に <u>見通しをもち、意欲的に活動や 学習に取り組み、共に活動する楽しさを友達と共有す る。</u>							
	・見付けたことや気付いたことを相手に分かるように話すとともに 相手の話に興味をもって聞く。	・思ったことや考えたことを進んで話し、先生や友達の話に反応しながら 最後まで聞く。							
	・お話の世界を想像したり、友達と楽しさを共有したりしながら、 本に親しみ言葉を広げていく。	・文字や数字、言葉を読んだり、書いたり、使ったりする楽しさを味わ う。							
	・学び合いの約束を身に付け、自分の思いを表現したり友達と伝え 合ったりする。	・伝えたいことの順序に気を付けながら、分かりやすく伝える。							
小 学 校 区 で 目 指 す 子 ど も の 姿	・学校生活に必要な約束やルールを知り、友達と一緒に活動する楽 しさや喜びを味わう。	・学級をもっと楽しくするために工夫できることや新しい約束などを考 え、話し合う。							
	・相手の気持ちや考えたり自分の行動を振り返ったりして楽しく生 活しようとする。	・友達や上級生と助け合って活動する中で、お互いのよさを理解し、連帯 感や所属感を深める。							
	・新しく出会う先生や友達と一緒に活動する楽しさを感じながら進 んで関わろうとする。	・身の回りのことや係、当番の活動に進んで取り組み、自分たちで生活 を進めていこうとする。							
共 通 し て 充 実 を 目 指 す 活 動 ・ 体 験	思いを伝え合う力・協同する力・挑戦する力								
	みんなと伝え合おう								
	〈朝の会〉 ・元気に挨拶したり、みんなと仲よく歌ったりしながら、クラスの一体感を味わう。 〈帰りの会〉 ・自分の頑張りが楽しかったこと、友達のよさを発表する。（今日のキラッと）								
	学校 大すき	みんなでナイストライ	みんななかま						
	○学校の施設や友達、先生に関心をもって関わったり友達と協力して 探検したりして見付けたことを伝え合う。 ・自己紹介カードを使って友達や学校の先生方と交流する。 （国語「どうぞよろしく」生活「がっこうだいすき」 道徳「あかるいあいさつ」） ・学校探検で見付けたものや気付いたことを、友達に絵や言葉で伝える。 （生活「学校たんけんしよう」国語「なんていおうかな」） ・安全に登下校するためのルールやマナーを知る。 （生活「みんなであつがくろをあるこう」） ・歌ったり踊ったりしながら、友達と交流し合う。 （音楽「うたっておどってなかよくしよう」） ・学校生活で楽しみなことを伝え合う。（道徳「がっこうだいすき」） ・友達と仲よくするとどんないいことがあるか話し合う。 （道徳「なかよくね」）	○学校行事への参画意識の芽 生えを大事にし、運動会に 向け、精一杯走ったり、踊 ったり、応援したりしよう とする。 （行事「運動会」 体育「走の運動遊び」 「表現リズム遊び」、 特活「選手宣誓」 「応援参加」、 学活「自分の目標をもって 運動会に参加しよう」 国語「ききたいな、 ともだちのはなし」）	○遊びを通して友達とのつながりを築いたり、 自分たちで相談したり工夫したりしながら 活動する楽しさを味わう。 ・応答したり、感想を伝えたりする。 （国語「ききたいな、ともだちのはなし」） ・みんなタイムやシンカタイムで意見を交流 し合う。（各教科） ・遊具や自然を使った遊びを考え、ルールや マナーを守って仲よく遊ぶ。 （生活「こうえんであそぼう」） ・アサガオの種を植え、成長を楽しみにしな がら、気付いたことを伝え合う。 （生活「きれいにさいてね」） ・自分や友達のよさを見付けて認め合う。						
	自分たちで できるよ	・必要な係や当番の仕事を考え、自分たちでできることを進んでやってみようとする。（学活「学級の係や当番を決めよう」） ・縦割り班清掃や給食当番活動など、自分のやるべき仕事をしっかりと行おうとする。 ・気持ちよく過ごすために大切なことや自分が実践していることを伝え合う。（道徳「きもちのよいせいかつ」「おふるそうじ」）							
行事・FC ★子どもの交流（例）	入学式	上級生となかよくなろう 縦割り班集会	学校探検	給食開始	運動会	ことばとまなびの 小テスト	PTA授業参観		
	PTA授業参観・懇談会	縦割り班顔合わせ集会	交通教室	町内連絡会	地域訪問	児童集会	終業式	夏休み	個人面談
職員の交流 他（例）	就学前施設職員授業参観・懇談会参加				幼保小連携推進会議	保育参観・保育体験			授業参観
					幼保小担任研修会				
○☆ 環境 援助 の 構 成 イ ン ト	☆ 入学した喜びを共有し、意欲的に取り組もうとする姿を認め励ましたり、子どもの話を共感しながら聞いたりして、温かな安心できる学級づくりを工夫する。 ☆ 幼児期とのつながりを考慮し、幼児期に親しんだ活動を取り入れ、自信をもって活動できるようにする。 ○ 子どもの思いを汲み取りながら、一人一人が安心感をもち、落ち着いて生活、学習できるように一緒に環境を工夫していく。 ○ 生活科を中心とした関連的な指導を行ったり、弾力的に時間割を工夫したりする。				☆ 具体的な体験を通して、伝え合う、交流する、試行錯誤や繰り返す活動を保障し、お互いのよさやそれぞれの気付きを共鳴させるようにする。 ☆ 運動会などの取組を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けし、意欲を高める。 ○ 登下校や縦割り班活動、運動会などへの取組を通して、地域の方々や他学年との関係づくりをするとともに、様々な人に支えられていることに気付けるようにする。				
	・学校の方針、1年生の目指す姿やスタートカリキュラム、重点施策等について伝え、理解を得る。また、持ち物や登校時刻、安全な登下校などについて保護者の協力を得られるようにする。 ・1年間の予定や1週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもてるようにする。 ・連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするとともに、家庭でも話題にし、褒めたり認めたりしてもらえるようにする。				・子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。 ・規則正しい生活習慣やメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習などを継続する大切さを啓発していく。 ・学校行事や学年の活動、PTA活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。				
家 庭 と の 連 携									

 <共通の視点> 思いを伝え合う力 協同する力 挑戦する力					城南小学校区 城南小学校 大館八幡こども園 大館幼稚園 城南保育園				
89101112					123				
小学校1年 第3期					小学校1年 第4期				
たくさんの友達との関わりの中で、相手の思いや願いを感じながら自分の思いを表現し、主体的に活動や学習に取り組む。					自分や友達の成長に気付き、お互いに認め合い、相手の気持ちを尊重しながら、自信をもって活動や学習に取り組む。				
・自分の考えに理由を付けて話したり、友達の話に共感しながら聞き、質問や感想を伝える。					・友達の話を聞いて、質問したり感想を伝えたり、相手の発言を受けて話をつないだりする。				
・身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使う。					・言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにするとともに、場に応じた言葉を適切に使う。				
・伝えたい相手や目的に応じて言葉や方法を選んで工夫して伝える。					・新しい1年生に学校のことを分かりやすく伝えるために、内容や表現方法を工夫する。				
・学び合いの中で様々な見方や考え方があることに気付き、友達の考えを取り入れて課題を解決しようとする。					・これまでの学習や経験を生かして解決方法を考えたり、言葉や図などを使って分かりやすく説明したりする。				
・相手の思いや願いを知り、友達と一緒に活動する楽しさや喜びを味わう。					・新1年生との交流会や、学級のお楽しみ会に向けて、内容や役割などを話し合い、みんなで協力して実践しようとする。				
・学習や生活、行事等の中で、自分の目標を達成するよう諦めずに取り組もうとする。					・2年生へ向けて、自分の目標を決めて、今できることに粘り強く取り組もうとする。				

<みんなタイム> さん）自分の考えを伝え合う。 <朝のスピーチタイム・学年スピーチタイム> ・テーマに沿って、自分の考えを、理由を付けて伝え合う。					
城南オリンピックに向かって		あきのおもちゃパーティーを開こう		もうすぐ2年生	
○城南オリンピックに向けて内容や役割などを話し合い、協力し合って創る。 (学校行事「城南オリンピック」) ・城南オリンピックの内容、ルール、役割等を話し合って決める。 ・学級の種目に必要な物を話し合い、友達と分担して協力して作る。 ・活動を振り返り、認め合う。 (学活「城南オリンピックの準備をしよう」)		○身近な秋の自然と関わり、それを生かして遊びながら夏との違いに気付き友達と伝え合ったり、年長児と進んで関わり遊び方を工夫して遊んだりする。 生活「たのしいあきいっぱい」～いっしょにあそぼう～ ・校庭や公園で秋の素材を集めたり、遊んだりする。 ・木の実や葉などでおもちゃを作って遊ぶ。 ・年長児が楽しめるおもちゃを工夫して作る。 ・遊び方やルールを工夫し、楽しく遊べるように考える。 ・年長児への説明の仕方を工夫し、分かりやすく伝える。 ・年長児に楽しんでもらえるような話し方や接し方を考え進んで関わる。 ・活動を振り返り、お互いのがんばりやよさを認め合い自分自身の成長に気付く。		○年長児との関わりを深め、成長の喜びや感謝の気持ち、進級への期待・意欲をもつ。 生活「新しい1年生をしょうだいしよう」 ・新1年生のために、どんなことができるか考えて話し合い、計画、実践する。 国語「いいこといっぱい、一年生」 生活「しょうだいたしたことを話し合おう」 ・新1年生と関わった際の写真や動画などを見ながら、感じたことや気付いたことを話し合う。 生活「ありがとうわたしたちの教室」 ・1年間使用した教室に感謝の気持ちをもち、掃除をしたり、新1年生のために作品を飾ったりする。 道徳「みんなみんな、ありがとう」 ・自分で成長したと思うことを考えて伝え合い、支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを表す。	
みんなにやさしく					
・友達と仲良くし、助け合おうとすることの大切さや、相手を思いやり、優しく接しようとする心のよさに気付く。(道徳「二わのことり」「はしのうえのおおかみ」)					
・家庭生活について調べたり尋ねたりして、家の人がしてくれていることや自分でできることなどを見付け、実際に行う。 (生活「じぶんでできるよ」～いえてのせいかつを見つめよう～ ～じぶんでできることをしよう～)					

始業式		就学時健診		PTA授業参観		始業式		PTA授業参観	
☆城南オリンピック交流		☆年長児との交流		終業式		冬休み		☆なかよし交流会	
幼保小中連携メディアコントロール週間						スキー授業			
架け橋会議		保育体験		教職員実践発表会		情報交換会		要録・個別の教育・保育支援計画の活用	
夏季研修会		架け橋会議							
☆学級集会や学習発表会など、共通の目的に向かって活動することで、思いを伝え合い協力して創り上げる体験をもてるようにする。					☆体験入学では新1年生が入学を楽しみにするような活動を工夫できるようにする。				
☆縦割り班や異学年の子ども、幼児、高齢者など、関わりを段階的に広げ多くの人と交流することで、相手意識をもって行動できるようにする。					☆「ありがとうカード」や「いいねカード」を交換し、お互いのよさを実感できるようにする。				
○友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に確保し、満足感や達成感をもてるようにする。					○1年間の成長に気付き、自分や友達のよさを実感できるように、子どもの作品やカード、写真などを掲示する。				
・2学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。					○情報交換を基に、架け橋カリキュラムの改善を図る。				
・生活科「かそくにここに大作戦」のねらいや内容を丁寧に伝え、継続してお手伝いに取り組めるよう協力をお願いする。					・子どもの成長について、家庭でも褒めたり認めたりしてもらうようお願いする。				
・子どもたちの活動の様子や頑張っている姿を伝え、家庭でも褒めたり認めたりしてもらえようようにする。					・自信をもって進級できるように、子どもが自分では気付かない内面の成長についても気付かせてもらうようにする。				
・就学に向けて、起床、就寝、食事やメディアの時間を見直し、規則正しい生活を送ることができるよう協力をお願いする。					・生活リズムや持ち物など、子どもと一緒に話し合った確認したりしながら、進級に向けての準備をしてもらうようにする。				

令和7年度 城西小学校区 架け橋期のカリキュラム全体計画（5歳児 4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿

大 館 市 周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども
城西小学校区 豊かな体験を通して、学ぶ喜びや楽しさを実感し、仲間と幸せを分かち合う子ども

月 期		4	5 5歳児 第1期	6	7	8 5歳児 第2期	9	
ね ら い 重 点		年長としての意欲と自信をもち、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。			友達と思いを伝え合いながらイメージを共有し、力を合わせて遊びや生活を進めていく中で仲間意識を高める。			
	小学校区で目指す子どもの姿	知識及び基礎能力 表現力・思考力・判断力 社会性・生活力	自分のしたことや思ったことを相手に話そうとする。 ・絵本や物語、紙芝居、言葉遊びなどに親しみ、言葉の楽しさや美しさに気づき、言葉を豊かにする。			保育者や友達の話に興味をもって聞こうとする。 ・草花遊びや色水遊びなどを通して、草花や色の名前などに興味をもって調べ、言葉が広がることを楽しむ。		
		ねらいの達成状況	リレー遊びやドッジボールなどのゲームを楽しくするために、作戦やルールを話し合って工夫する。 ・絵本や物語に親しみ、気付いたことや感想、想像したことを友達と伝え合うことを楽しむ。			ごっこ遊びや共同製作などで友達とイメージを伝え合い、共有しながら表現する喜びを味わう。 ・遊びの目的に沿って時間をうまく使ったり、場所や道具を選んだりして、自分たちで遊びを進める。		
		ルールのある遊びの中で、友達と競い合ったり応援したりして遊ぶ。 ・すすんで挨拶を交わしたり「ありがとう」「ごめんなさい」の気持ちを心をこめて伝える。			園の行事などに向けてやりたいことを決め、目的が達成できるように話し合ったり協力し合ったりする。 ・トラブルを通して、葛藤を味わったり気持ちを調整したりすることを繰り返し、相手の思いに気付く。			
共通して充実を目指す活動・体験	言葉で伝え合う力	みんなに伝えよう 〈朝の会・帰りの会〉 ・当番が進行したり質問したりして伝え合いを楽しむ。 ・名前や朝ご飯に食べた物など自分のことをみんなに伝える。 ・絵本の内容や連絡をクイズ形式で聞いて、答える。 ・「ぼくは、わたしは、～です。」の語形を覚えて使う。 〈かがやきタイム〉 ・興味をもったことを友達や先生に伝える。 ・友達の話に「いいね。」と反応したり、共感する意見を話したりする。 ・困っていることや先生、友達に聞いてみたいことを伝えようとする。						
	共感・協働する力	みんなの力を合わせよう ○最年長になった喜びと意欲をもち、友達や年下の子どもたちと親しみをもち関わろう。 〈入園式・進級の会〉 ・年長になった喜びをみんなと伝え合う。 ・入園のお祝いメッセージをみんなの前で発表し自信をもつ。 ・年長児として、年下の子どもたちと遊んだり手伝ったりして関わりながら、思いやりの気持ちや自信を深める。 〈当番活動・クラス活動〉 ・年長としての役割を覚え友達と教え合って取り組む。 ・順番や必要な道具・用具を考え、みんなで準備したり確認したりする。 ・係を決めて、給食の運搬や配膳をする。 ・園行事やお誕生会などの司会を務める。 ・みんなの役に立つ喜びを味わう。						
		なかよく遊ぼう ○相手の思いや考えに気づき、受け入れたら共感し合ったり、自分の気持ちをコントロールしたりしながら遊びを進める体験をする。 〈製作・自由遊び・自然とのふれあい〉 ・進んで戸外に出て十分に身体を動かして伸び伸び遊ぶ。 ・草花や虫、風などの身近な自然に触れて不思議さを感じ、観察したり調べたりして、関心を深める。 ・水や土などの感触や色水の変化など気付いたことを友達と伝え合い共感し合う。 ・身近な素材や用具を使って工夫して作り、作った物を遊びに取り入れることを楽しむ。						
		★1年生との交流						
行事・FC 子どもの交流 ★小学校 ★園同士	入園式	避難訓練（通年）	★運動会予行参観	七夕会	スイミング	運動会（ホ・ホニ）		
	進級の会	交通安全教室（通年）	登山・遠足（神）	夕涼み会（神・ホニ）	★ハッピー交流会Ⅰ	★わくわく交流会		
	保護者参観日		運動会（神）		お泊り会	稚児行列（神）		
職員の交流 他	小学校1年生の授業参観・情報交換会	架け橋カリキュラムの見直し	幼保小連携推進会議	幼保小担任研修会	市夏季研修会	保育体験	架け橋会議	
	○★環境援助の構構ポイント	★ 年長になった喜びや緊張を受け止め、目標をもって意欲的に取り組む姿を認めながら自信をもって自分らしさを発揮できるように励ましていく。 ○ 1日の生活の流れを時計とともに表示し、活動の見通しがもてるようにする。 ○ 子どもが遊びを継続し、満足感や達成感を得られるように、新しい素材や道具などを子どもと一緒に考えて用意したり、場所や時間を十分に保障したりする。			★ 友達と協力したり競い合ったりして活動する中で、繰り返し挑戦したり試したりしようとしている姿を丁寧に読み取り、認めたり紹介したりする。 ★ お互いの思いやイメージを出し合いながらよりよい方法で遊びを展開できるように、考えを受け止めて言葉にしたり視覚化したりしながら、考えを引き出す援助をする。 ○ 遊びの楽しさや工夫を交流したり、お互いのよさを認め合ったりするために、遊びの振り返りの時間を保障する。			
	家庭との連携	・子どもの園での様子を伝えたり、家庭での様子や育児上心配なことを聞いたりしながら、保護者の思いを受け止めるとともに、信頼関係を築いていく。 ・年長として意欲と自信をもって生活している姿を伝え、子どもの成長とともに喜び合ったり考えたりして支えていく。 ・年間の行事予定やそれをリードする年長児としての役割を伝え、理解と協力を得る。			・遊びの様子や行事などの参観、懇談を通して、「どのような育ちを願い、どんなを経験をさせたいか」、子どもの姿容を伝えながら成長を共有していく。 ・遊びや生活の中でのトラブルが成長につながることを伝え、様子を伝えながら理解を得るようにする。 ・早寝・早起き・朝ご飯や絵本の読み聞かせの大切さを伝え、理解と協力を得る。			



本気ッずくん

＜共通の視点＞
言葉で伝え合う力
共感・協働する力

城西小学校区
城西小学校
宮の杜神明こども園
大館ホテヤこども園
大館ホテヤ第二こども園

10	11	12	1	2	3
5歳児 第3期			5歳児 第4期		
友達と一緒に考えたり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら共通の目的に向かって遊びや生活を進める楽しさを味わう。			自分や友達のよさが分かり、認め合ったり受け入れ合ったりしながら、協力して遊びを進める楽しさややり遂げる満足感を味わう。		
♥自分がしたことや思ったことを話そうとし、相手の話を聞こうとする。 ・時計や記名など、文字や数字に親しみ、生活する上で必要な情報を集めたり遊びに取り入れたりすることを楽しむ。			♥思ったことや考えたことを相手に分かるように話すとともに相手の話に興味をもって聞く。 ・あいさつや言葉遣いなどを相手や状況に応じて適切に使いながら、1年生や年下の子などとの関わりを楽しむ。		
♥遊びや生活を振り返って楽しかったことや困ったこと、明日やりたいことなどを言葉で伝え合う。 ・絵本や物語に親しみ、気付いたことや想像したことを友達と伝え合ったり情景や心情のイメージを広げて遊びに取り入れたりする。			♥園生活を振り返り、経験したことや友達と協力した思い出などを言葉で伝え合い、成長した喜びを味わう。 ・身近な事象と関わる中で、変化や仕組み、法則性などに気づき、調べたり確かめたり工夫したりの試行錯誤を楽しむ。		
♥友達のよさと一緒に遊ぶ楽しさを感じながら共通の願いや目的を実現させる喜びを味わう。 ・考えを伝え合ったり相談したりしてイメージや目的を共有し、遊びや生活をつくる。			♥遊びや生活を振り返り、もっと楽しくするために友達と話し合い、自分たちで協力し合って進める。 ・園生活やクラスの自分の役割を果たそうとし、役に立つ喜びを味わう。		
＜朝の会・帰りの会＞ ・今日うれしかったこと頑張ったこと、明日頑張りたいこと、教えてもらいたいことなどを発表する。 ・友達の話に興味をもって聞いたり、質問したりする。 ＜かがやきタイム＞ ・自分の頑張りの友達を伝え合う。 ・遊びを振り返って工夫したことや明日やりたいことなどを伝え合う。 みんなで協力してやりとげよう 感謝を伝えよう ＜お別れ会・卒園式＞ ○園生活を振り返って自分たちの成長の喜びを感じ、お世話になった人々たちへの感謝の思いを伝える。 ・園生活を振り返り、楽しかった思い出を伝え合い、大きくなった喜びを感じる。 ・どんなことをすれば、感謝の気持ちを伝えられるか話し合い、協力してやり遂げる。 ◇感謝の気持ちを言葉や歌で伝える。 ◇お世話になった先生や友達・異年齢児家族にプレゼントを製作して渡す。 ◇園内やクラスをきれいに掃除したり飾り付けたりする。 ・友達と協力し合いながら取り組む楽しさや達成感を感じる。 ・小学校でやってみたいことを絵や言葉で伝え合い、期待をもつ。					
＜おゆうぎ会・発表会＞ ・発表内容や台詞、背景、道具などの役割分担を考えて話し合い、イメージをやり取りしながら準備を進める。 ・困っている友達にアドバイスしたり、お互いに教え合ったりする。 ・自分と違う友達の考えを受け入れたり、折り合いを付けたりする。 ・場面や踊り毎に発表を見合って、友達のがんばりやよさを認め合ったり、もっとよくしたいこと等を伝え合う。 ・友達と協力して成功させる喜びや協力してやり遂げる達成感を味わう。 ＜制作・自由遊び・自然とのふれあい＞ ★1年生との交流 ・身近な秋の素材を生かして作りたいもののイメージを伝え合ったり、遊び方やルールを話し合ったりしながら作った物で遊ぶ。 ・素材の特徴や性質を生かして、試したり工夫したりしながら遊ぶ。 ・地域の生活に関係の深い行事や文化を取り入れながら遊びを展開する。 ＜当番活動＞ ・園全体の行事の司会を務める。 ・どんな係があったら楽しくなるか考えて、協力して挑戦してみる。 ・5歳児としての仕事を4歳児にも分かるように伝える方法を考える。 ・みんなのがんばりを認め合い、誰かの役に立つ喜びを味わう。			＜ルールのある遊び＞ ・チーム分けや遊び方、作戦などを話し合い、友達と競い合ったり応援し合ったりして、目的に向かって協力し合う充実感を味わう。 ・友達の関わりの中で、異なる相手の気持ちに気づき、言葉で伝えたり考えたりしながら気持ちに折り合いを付けて遊ぶ。 ・勝敗に対し、喜んで悔しがったりする一体感を味わう。 ・みんなの力で一つのことを成し遂げる充実感を味わう。		
★城西フェスティバル予行参観 就学時健診 ☆ハッピー交流会Ⅱ（秋のおもちゃフェスティバル） 豆まき会 ☆ハッピー交流会Ⅲ（体験入学） ひなまつり会 お別れ会 おゆうぎ会 クリスマス会 保護者参観日 発表会（神） ★健康教室 卒園式 幼保小中連携メディアコントロール週間 ★生涯学習フェスティバル展示 シャッフル給食（ホ） 小学校市教研総合研への参加 保育参観・協議 架け橋会議 教職員研究実践発表会 情報交換会 ★要録・個別的教育・保育支援計画の送付					
☆ 共通の目的に向かって試行錯誤しながら実現に向かう場面を大切にし、それぞれの持ち味を発揮したりお互いによさを認め合ったりしながら協力し合うことができるような言葉掛けをする。			☆ 今までの経験を生かして、心と体を十分に動かして自分たちで遊びを進める姿を認め、満足感をもてるようにする。		
○ 一人一人の興味・関心に応じた絵本との出会いを大切に、絵本に親しむ環境を工夫する。			☆ 子どもと一緒に園生活を振り返りながら、5歳児としての役割をやり遂げた達成感や自他の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。		
○ 四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられる体験、知的好奇心を満たす遊びや環境を工夫する。			○ 卒園に向けて、自他の成長に気付いたり、お世話になった方々への感謝の気持ちをもちたりできるような環境を工夫する。		
・就学時健康診断を機会に、入学までに身に付けたい習慣や力について話題にしていく。 ・就学に向けての心配や不安を受け止めて、安心して就学できるように子どもへの関わりと一緒に考えるとともに、必要な情報を提供し相談できる機会や場につなぐ。場合によっては小学校と情報を共有する。 ・就学に向けて、起床、就寝、食事、メディア使用の時間を見直し、規則正しい生活を送れるように協力をお願いする。			・卒園式、入学式までの予定などの情報を提供し、見通しをもって準備できるよう、また不安がないように支援する。 ・子どもの頑張りやよさについて伝え、成長の喜びを共有し、自信と期待をもって入学できるような励ましや言葉掛けをお願いする。		

令和7年度 城西小学校区 架け橋期のカリキュラム全体計画（1年生 4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿

大館市 周囲の人々と環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども

城西小学校区 豊かな体験を通して、学ぶ喜びや楽しさを実感し、仲間と幸せを分かち合う子ども

月期	4	5	6	7	
	小学校1年 第1期	小学校1年 第2期			
ねらい重点	小学校の生活や新しい学習に興味をもって取り組み、学級の友達や上級生、先生と進んで触れ合い、楽しく、安心して生活する。	小学校の生活や学習に見通しをもって取り組み、目的や学ぶ楽しさを友達と共有し、意欲的に活動や学習に取り組む。			
小学校区で目指す子どもの姿	知識及び技能の基礎	知識及び技能の基礎			
	表現力・思考力・判断力	表現力・思考力・判断力			
	学びに向かう力、人間性等	学びに向かう力、人間性等			
	- したことや見付けたことなどを、姿勢や口形、発声や発音に気を付けてはきはきと話す。 - 学校生活に必要な約束やルール、マナーに気付き、身の回りのことを自分でやろうとする。 - 学級の友達と一緒に活動する楽しさや様々な考えに触れる喜びを味わう。 - 学び合いの約束を生かして自分の思いを表現したり友達と伝え合ったりする。 - 相手の気持ちを考えたり自分の行動を振り返ったりして楽しく生活しようとする。 - 新しく出会う先生や友達と一緒に活動する楽しさを感じながら進んで関わろうとする。	- 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを、落とさないように注意して聞く。 - 学校生活のリズムが身に付き、活動に見通しをもって準備したり約束やルールを守って行動したりする。 - 自分の伝えたい目的や相手に応じて、言葉や方法を選んで伝えようとする。 - 経験したことや身に付けたことを活用したり友達の見方や考え方を取り入れたりしながら課題を解決する。 - 友達と一緒に活動する中で、お互いを理解し、連帯感や所属感を深める。 - 学校を支えている方々や地域の方などいろいろな人と関わることを楽しみ、地域への親しみを深める。			
言葉で伝え合う力 共通して充実を目指す活動・体験	みんなと伝え合おう ＜朝の会・帰りの会＞ - 元気に挨拶したり、みんなと仲よく歌ったりしながらクラスの一体感を味わう。 - 自分の頑張りや楽しかったこと、友達のよさを発表する。 1日のスケジュールが分かり、教え合ったり質問したりする。 ＜かがやきタイム＞ - 学習を振り返り、学んだこと、みたいことなどを伝え合う。 どうぞよろしく 学校 大すき みんななかま ○新しい友達と思いを伝え合ったり、進んで関わったりする。 - 自分の好きな物や得意なことなど、伝えたいことを考えて自己紹介カードを作り、友達と交流する。（国語「どうぞよろしく」「なんていおうかな」） - 歌ったり踊ったりしながら友達と交流し合う。（音楽「うたでおどってなかよくしよう」） - 楽しく生活するためのルールやマナーを話し合い、守って友達となかよく遊ぶ。（生活「みんなとなかよくなりたいな」） - 学校生活で楽しみなことを発表し合う。（道徳「がっこうだいすき」） - 友達と仲よくすることのよさや助け合うことの大切さを考えずすんで関わる。（道徳「なかよくね」） ○学校の施設や友達、先生に関心をもって交流したり調べたりして、見付けたいことを伝え合う。（生活「がっこうのことがしりたいな」「学校たんけんをしよう」） - 場に応じた挨拶や言葉遣いを考え、伝え合う。（国語「なんていおうかな」） - 探検して見付けたことを友達と絵や言葉で伝え合う。（生活「学校でみつけたことをつたえよう」） - 国語「こんなものみつけたよ」 - 学校にいる人たちと繰り返し関わり、自分たちを支えてくれている人がいることに気付く。（生活「学校にいる人たちとなかよくなろう」） ○友達と遊び方やルールを考えて伝え合い、工夫したり協力し合ったりして遊ぶ。 ☆年長児との交流活動 - 遊具や自然を使った遊びを考え、ルールやマナーを守って仲よく遊ぶ。（生活「こうえんであそぼう」） - 水を使った遊びを考え、友達や年長児と一緒にやり取りしながら仲よく遊ぶ。（生活「みずであそぼう」） - 友達の話に回答したり、感想を伝えたりする。（国語「よくきいてはなそう」） - 自分や友達のよさを見付けて認め合う。（道徳「みんなじょうず」） 自分の役割をやり遂げよう ○自分に出来ることを考えて友達と協力し合いながら進んで活動し、みんなのために役に立つ喜びを感じる。＜ハッピータイム＞ - 学級の係活動 給食当番活動（学活） ハートアップタイム 縦割り班活動 活動（児童会活動） スペシャル休み時間				
	行事・FC★子どもの交流	入学式 1年生を迎える会 学校探検 給食開始 運動会 ☆ハッピー交流会Ⅰ PTA授業参観・個人面談 PTA授業参観・懇談会 地域訪問 ことばとまなびの小テスト 終業式 夏休み 縦割りの清掃班スタート集会 交通安全教室・下校指導（オレンジ隊）			
	職員との交流他	就学前施設職員授業参観・懇談会 幼保小連携推進会議 幼保小担任研修会 授業参観 保育体験			
○★環境援助のポイント	☆ 入学した喜びを共有し、意欲的に取り組もうとする姿を認め励ましたり、子どもの話を共感しながら聞いたりして、温かな安心できる学級づくりを工夫する。 ☆ 幼児期とのつながりを考慮し、幼児期に親しんだ活動を取り入れ、自信をもって活動できるようにする。 ○ 子どもの思いを汲み取りながら、一人一人が安心感をもち落ち着いて生活、学習できるように一緒に環境を工夫していく。 ○ 生活科を中心とした関連的な指導を行ったり弾力的に時間割を工夫したりする。 ☆ 具体的な体験を通して、伝え合う、交流する、試行錯誤や繰り返す活動を保障し、お互いのよさやそれぞれの気付きを共鳴させるようにする。 ☆ 運動会などの取組を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けし、意欲を高める。 ○ 登下校や縦割り班活動、運動会、ふるさとキャリアの活動などへの取組を通して、地域の方々や他学年との関係づくりをするとともに、様々な人に支えられていることに気付けるようにする。				
家庭との連携	・ 学校の方針、1年生の目指す姿やスタートカリキュラム、重点施策等について伝え、理解を得る。 ・ 1年間の予定や1週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもてるようにする。 ・ 連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするとともに、家庭でも話題にし、褒めたり認めたりしてもらえるようにする。 ・ 子どもの頑張っていることやできるようになったことを具体的に伝える。 ・ 規則正しい生活習慣づくりやメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習など、継続する大切さを啓発していく。 ・ 学校行事や学年の活動、PTA活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。				



＜共通の視点＞
言葉で伝え合う力
共感・協働する力

城西小学校区
城西小学校
宮の杜神明こども園
大館ホテヤこども園
大館ホテヤ第二こども園

8	9	10	11	12	1	2	3
小学校1年 第3期					小学校1年 第4期		
たくさんの友達との関わりの中で、相手の思いや願いを感じながら自分の思いを表現し、主体的に活動や学習に取り組む。					自分や友達の成長に気付き、お互いに認め合い、相手の気持ちを尊重しながら、自信をもって活動や学習に取り組む。		
★ 友達の話を聞いて、質問や感想を伝えたり、相手の発言を受けて話しをつないだりする。 ・ 身近なことを話す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにする。					★ 学習の見通しをもって、積極的に友達の話を聞き、質問や感想を述べて学習をつないでいこうとする。 ・ できるようになったことや、学級や家庭での役割が増えたことなど、自分の成長に気付く。		
★ 伝えたいことの順序に気を付けて分かりやすく伝えたり、理由を付けて説明したりする。 ・ 既習を活用したり、ペアやグループで相談したりして、よりよい考えを見付ける。					★ これまでの学習や経験を生かし、事柄の順序に沿って話したり書いたりする。 ・ 新しい1年生に学校のことを分かりやすく伝えるために、方法を工夫する。		
★ 友達のよいところを見つけて、お互いのよさを認め合い、温かい学級をつくろうとする。 ・ 友達や家族、地域の方に感謝し、みんなの役に立つ喜びを感じながら自分の役割を果たそうとする。					★ 自分のよさや友達のよさに気付き、互いに認め合って、得意なことを生かしながら役割を果たしていこうとする。 ・ 「6年生を送る会」や卒業式、修了式の準備や練習を通して異学年の児童や家庭、地域への感謝の気持ちを持つ。		
や友達のよさ、もっと考えて					＜なかよしタイム・本気ッずタイム＞ ・ 自分の考えを言葉や図に表し、友達と考えを伝え合う。 ・ 自分とは異なる友達の考えも認め、よりよい考え方を 使って問題を解決しようとする。		
フェスティバルにむかって					あきのおもちゃフェスティバルをつくろう		
○城西ふれあいフェスティバルに向けて内容や役割などを話し合い、協力し合って創る。 （学校行事「城西ふれあいフェスティバル」） ・ フェスティバルの目標や発表の内容、役割等を話し合って決める。 （学活「フェスティバルに向かってがんばろう」） ・ 劇の登場人物のセリフや動きを話し合い練習する。 （国語「おはなしをたのしもう」） ・ 背景や大道具、小道具など、必要な物を話し合い、資料などから情報を集めたり友達と分担したりして協力して作る。 （図工「はって かさねて…」） ・ 活動を振り返り、認め合う。 （学活「自分や友達のがんばりをつたえあおう」）					○校庭や公園で身近な自然と関わり、それを利用して遊びながら夏の思い出に気付いたり、年長児との遊び方を工夫して進んで関わったりする。 生活「たのしいあきいっぱい！～いっしょにあそぼう～」 ★年長児との交流活動 ・ 校庭や公園で秋の素材を集めたり、遊んだりする。 ・ 木の実や葉などでおもちゃを作ったり遊ぶ。 ・ 園児が楽しめるおもちゃを工夫して作る。 ・ 遊び方やルールを工夫し、楽しく遊べるように考える。 ・ 園児への説明の仕方を工夫して、分かりやすく伝える。 ・ 園児に楽しんでもらえるような話し方や接し方を考えて実践する。 ・ 活動を振り返り、お互いのがんばりやよさを認め合い自分自身の成長に気付く。		
（地域交流） ・夢授業（年3回 生活科） ・6年生を送る会（児童会活動）					○お世話になった6年生への感謝の気持ちを伝えるために、どんなことを発表するか話し合い、協力し合って準備や練習をする。 （学活「6年生を送る会の準備をしよう」）		
始業式 秋の校外学習 ★城西ふれあいフェスティバル ★ハッピー交流会Ⅱ（秋のおもちゃフェスティバル） スキー授業 ★ハッピー交流会Ⅲ（体験入学） 6年生を送る会					卒業式 修了式		
幼保小中連携メディアコントロール週間 就学時健診 終業式 冬休み 始業式							
下校指導（オレンジ隊）～2月							
夏季研修会 架け橋会議 小学校市教研総合研 架け橋会議					教職員研究 実践発表会 学校保健委員会 情報交換会 要録・個別の教育・保育支援計画の活用		
★ 学級集会や城西ふれあいフェスティバルなど、共通の目的に向かって活動することで、思いを伝え合い協力して創り上げる体験をもてるようにする。					★ 体験入学では新1年生が入学を楽しみにするような活動を工夫できるようにする。		
★ 縦割り班や異学年の子ども、幼児、高齢者など、関わりを段階的に広げ多くの人と交流することで、相手意識をもって行動できるようにする。					★ 「ありがとうカード」や「なの花カード」を交換し、お互いのよさを実感できるようにする。 ★ 各教科を通して、1年間の成長を認め、2年生の学習や生活への意欲を高める。		
○ 友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に確保し、満足感や達成感をもてるようにする。					○ 1年間の成長に気付き、自分や友達のよさを実感できるように、子どもの作品やカード、写真などを掲示する。		
・ 2学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。 ・ 生活科「じぶんのできるよ」のねらいや内容を丁寧に伝え、継続してお手伝いに取り組めるよう協力をお願いする。 ・ 子どもたちの活動の様子や頑張っている姿を伝え、家庭でも褒めたり認めたりしてもらえるようにする。					・ 子どもの成長について、家庭でも褒めたり認めたりしてもらおうようお願いする。 ・ 自信をもって進級できるように、子どもが自分では気付かない内面の成長についても気付かせてもらおうようにする。 ・ 生活リズムや持ち物など、子どもと一緒に話し合ったり確認したりしながら、進級に向けての準備をしてもらおうようにする。		